



# SMART Board®

## 6000S | 6000S Pro

インタラクティブディスプレイシリーズ

## インストールおよびメンテナンスガイド

SBID-6265S-V3 | SBID-6275S-V3 | SBID-6286S-V3 | SBID-6265S-V3-PW | SBD-6275S-V3-PW | SBID-6286S-V3-PW  
SBID-6265S-V3-P | SBID-6275S-V3-P | SBID-6286S-V3-P

SBID-6065S-V3 | SBID-6075S-V3 | SBID-6086S-V3 | SBID-6065S-V3-PW | SRBID-6075S-V3-PW | SBD-6086S-V3-PW  
SBID-6065S-V3-P | SBID-6075S-V3-P | SBID-6086S-V3-P

SBID-6465S-V3-P | SBID-6475S-V3-P | SBID-6486S-V3-P

SBID-6265S-C | SBID-6275S-C | SBID-6286S-C | SBID-6065S-CPW | SBID-6275S-CPW | SBID-6286S-CPW  
SBID-6065S-C | SBID-6075S-C | SBID-6086S-C | SBID-6065S-CPW | SBID-6075S-CPW | SBID-6086S-CPW

SBID-6265S | SBID-6275S | SBID-6286S | SBID-6265S-PW | SBID-6275S-PW | SBID-6286S-PW  
SBID-6065S | SBID-6075S | SBID-6086S | SBID-6065S-PW | SBID-6075S-PW | SBID-6086S-PW

IDS665-3 | IDS675-3 | IDS686-3  
IDS665-1 | IDS675-1 | IDS686-1



この文書は参考になりましたか?  
[smarttech.com/docfeedback/171414](https://smarttech.com/docfeedback/171414)

**SMART®**



## 詳細

このガイドおよび SMART Board 6000S として 6000S Pro シリーズ インタラクティブ ディスプレイ用のその他リソースは、SMART ウェブサイトのサポート セクション ([smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)) からご利用いただけます。お使いのモバイルデバイスでこのQRコードを読み取ると、リソースにアクセスできます。



ENERGY STARは政府が支援するエネルギー効率のシンボルであり、消費者や企業が十分な情報に基づいた意思決定を行うために頼りにできるシンプルで信頼性の高い公平な情報を提供します。ENERGY STAR認定製品はエネルギー効率のためのシンプルな選択肢であり、消費者と企業はコストを削減し、環境を保護しながら簡単に購入を行うことができます。米国環境保護庁 (EPA) は、そのラベルを取得した各製品が、ユーザーが期待する品質や、性能、そしてコスト削減を提供する事を個別に認定されている事を保証します。

ディスプレイは出荷された状態でENERGY STARのパフォーマンスとコスト削減を実現します。ですが、一部の設定を変更するとENERGY STAR認証に求められる制限を超えてエネルギー消費量が増加する可能性があります。例えば、明るさとコントラストを上げると消費電力が増加します。

ENERGY STAR以外の設定を選択する際は環境を考慮してください。

## ライセンス



HDMIおよびHDMI高解像度マルチメディアインターフェースおよびHDMIのロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Bluetooth SIG, Inc.により所有されるBluetoothのワードマークおよびSMART Technologies ULCIによる当該マークのいずれの使用も許可を得ています。

## 商標表示

SMART Board、SMART Notebook、SMART TeamWorks、SMART Meeting Pro、Pen ID、HyPr Touch、Object Awareness、Silktouch、Tool Explorer、smarttech、SMARTのロゴ、およびSMARTの全てのキャッチコピーは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるSMART Technologies ULCの商標または登録商標です。BluetoothのワードマークはBluetooth SIG, Inc.により所有され、SMART Technologies ULCIによるそのようなマーク使用はいつでも許可を得ています。採用商標HDMIと、HDMI高解像度マルチメディアインターフェース、およびHDMIのロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティ製品および会社名は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

## 著作権表示

© 2022 SMART Technologies ULC. All rights reserved. SMART Technologies ULCの事前の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、転載、頒布、ならびに形式、方法を問わず他言語へ翻訳することは禁止されています。本書の内容は予告なく変更される場合がありますが、SMART Technologiesが変更を約束するものではありません。

ここに記載された本製品やその使用方法は、以下の米国の特許によって保護されています。

[www.smarttech.com/patents](https://www.smarttech.com/patents)

2022年7月25日

# 注意事項

## ⚠ 警告

- ディスプレイに付属した設置指示書に従わない場合、保証書で補償されない場合のある作業者のケガや製品の損傷に繋がる事があります。
- ディスプレイを開けたり分解しないで下さい。筐体内の高電圧で感電する危険性があります。また、筐体を開けた場合には、保証は適用されません。
- ディスプレイの画面にタッチするために椅子に乗らないでください。(特にお子様には)ご注意ください。椅子などを使用する必要がないように、適切な高さに製品を取り付けてください。
- 火事や感電の恐れがありますので、ディスプレイは雨にさらしたり湿気のあるところに置かないでください。
- ディスプレイに部品の交換が必要な場合は、SMART Technologiesの指定する交換部品、または元の部品と同等の特性を持つ部品を使用することをご確認ください。
- 床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。
- 危険な電圧部分に触れる可能性があり、保証の対象ではない恐れのある電気ショック、火災や製品損傷の原因となるので、キャビネットの換気口内に物を入れないでください。
- 電源ケーブルの上に重い物を置かないでください。ケーブルが損傷すると、衝撃、火災、または製品の損傷を引き起こす可能性があります。保証の対象外です。
- ディスプレイの有極プラグに完全に対応することができる延長コードと差込口のみを使用します。
- ディスプレイに付属の電源ケーブルを使用します。電源ケーブルが供給されない場合は、供給業者にお問い合わせください。電源コンセントのAC電圧に一致する電源ケーブルのみを使用し、さらに国の安全基準を遵守します。
- ガラスが破損している場合は、液晶に触れないでください。怪我を防ぐために、廃棄の際にはガラスの破片を慎重に取扱います。
- 取っ手にロープやワイヤーをつないでディスプレイを移動または取付しないでください。ディスプレイは重く、ロープ、ワイヤー、またはハンドルの故障は怪我につながる可能性があります。
- VESA認定済みマウント以外は使用しないでください。

## 注意事項

- 以下のような症状が発生した場合、ディスプレイの電源ケーブルをコンセントから抜き、資格あるサービス担当者のサポートを受けてください：
  - 電源ケーブルまたは電源プラグが破損している
  - ディスプレイに液体をこぼした
  - ディスプレイに物を落とした
  - ディスプレイの落下
  - ひび割れなどの、構造上の損傷の発生
  - 取扱説明書厳守時のディスプレイの予期せぬ動作

### 注意事項

- 画面をクリーニングする前にディスプレイをOFFにします。こうすることで、スクリーンを拭いたときにデスクトップアイコンがばらばらになったり、アプリケーションの誤起動を防ぐことができます。
- 過度に埃や湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイを使用しないでください。
- ディスプレイの近くに電源用のコンセントがあり、使用中に手が簡単に届くことを確認してください。
- ヨーロッパではディスプレイは、ヨーロッパTNとTT配電システムのみ使用すべきです。

ヨーロッパの一部の国で使用されている旧式のITタイプの出力分配システムには適合していません。「このシステム(ITタイプ)は、地面から離れた状態で広く使用されていますが、一部フランスでは230/400Vでインピーダンスを通して接地され、ノルウェイでは、電圧制限器により中性非分配型で230Vのライン間電圧で使用されています」

ディスプレイを設置する際に使用可能な電源システムのタイプに関して不明な点がある場合は、担当者までお問い合わせください。

- アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには電源の制限はありません。火災のリスクを軽減するために、アクセサリが防災エンクロージャIEC 60950-1 and IEC 62368-1を満たしているスロットに接続されていることを確認してください。
- 必ず、ディスプレイに付属のUSBケーブルを使用し、USBロゴマークのあるコンピューターのUSBインターフェースに接続してください。加えて、USBソースコンピュータはIEC 60950-1またはIEC 62368-1に準拠している必要があります。CEマークのあるものを使用し、ULまたはCSAまたはその他 NRTL / SCC 認証取得、CSA/UL 60950-1またはCSA/UL 62368-1認証に準拠している必要があります。こうした規定は、安全な操作と、ディスプレイへの損傷を防ぐためのものです。
- ディスプレイのOPS スロットからアクセサリを取り外す前に取り外す前に5分間アクセサリが冷却するのを待ちます。

❗ **重要事項**

- 次の表は、ディスプレイの標準的な動作電力を示しています。

モデル	規制モデル	標準電力
<b>6000S (V3)</b>		
SBID-6X65S-V3、SBID-6X65S-V3-PW、SBID-6X65S-V3-P、	IDS665-3	AC100V-240V、50Hz-60Hz、105W
SBID-6X75S-V3、SBID-6X75S-V3-PW、SBID-6X75S-V3-P、	IDS675-3	AC100V-240V、50Hz-60Hz、134W
SBID-6X86S-V3、SBID-6X86S-V3-PW、SBID-6X86S-V3-P、	IDS686-3	AC100V-240V、50Hz-60Hz、161W
<b>6000S (C) および SBID-6000S</b>		
SBID-6X65S-C、SBID-6X65S-CPW SBID-6X65S、SBID-6X65S-PW、SBID-6X65-P	IDS665-1	AC100v-240v、50Hz-60Hz、92W
SBID-6X75S-C、SBID-6X75S-CPW SBID-6X75S、SBID-6X75S-PW、SBID-6075-P	IDS675-1	AC100V-240V、50Hz-60Hz、141W
SBID-6X86S-C、SBID-6X86S-CPW SBID-6X85S、SBID-6X85S-PW、SBID-6X86-P	IDS686-1	100V ~ 240V AC、50 Hz ~ 60 Hz、172 W

- 追加要件およびその他の情報は、ディスプレイの仕様書 (18 ページ詳細情報) を参照してください。

# 目次

注意事項	3
第1章 ようこそ	8
本ガイドについて	8
ディスプレイについて	9
モデルの見分け方	14
アクセサリ	16
詳細情報	18
第2章 ディ스플레이の設置	19
ディスプレイの設置場所への移動	19
壁へのディスプレイの設置	21
スタンドにディスプレイを設置します。	25
ネットワークに接続	26
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際	27
省エネモードについて	28
第3章 コンピュータおよび他のデバイスの接続	29
SMARTソフトウェアのインストール	29
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続	31
SMART OPS PCモジュールの接続	34
その他のデバイスの接続	34
コネクタ図	37
第4章 ディ스플레이のメンテナンス	41
ディスプレイをオフ、オン、およびリセット	41
ハードウェアのクリーニングと管理	42
システムソフトウェアの更新	45
第5章 トラブルシューティング	47
ディスプレイの電源が入っていません	47
必要でない場合にディスプレイがONIになる	48
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります	48
音が出ない、または音声に問題がある	50
タッチが正常に動作していません	51
ペンと消しゴムが正常に動作していません	51
iQアプリが正常に動作していません	52
接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません	52
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない	53
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	53
付録 A 設定の調整	54
ネットワークの設定	54

カスタマイズ .....	55
アプリケーションの設定 .....	56
システム設定 .....	59
SMARTミラー .....	67
<b>付録 B SMART Remote Managementにディスプレイを登録する .....</b>	<b>69</b>
<b>付録 C SMART Board 6000S (V3) のディスプレイをRS-232で管理する .....</b>	<b>70</b>
コンピューターのシリアルインターフェースの設定 .....	71
コマンドと応答 .....	71
電源状態コマンド .....	73
入力コマンド .....	75
明るさコマンド .....	75
フリーズコマンド .....	75
スクリーンシェードのコマンド .....	75
ボリュームコマンド .....	76
ミュートコマンド .....	76
ファームウェアバージョンのコマンド .....	76
シリアル番号のコマンド .....	76
パーツ番号のコマンド .....	77
モデル番号コマンド .....	77
RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決 .....	77
<b>付録 D RS-232を用いたSMART Board 6000S (C) または 6000S シリーズディスプレイの管理 .....</b>	<b>78</b>
複数のディスプレイの接続 .....	79
コンピューターのシリアルインターフェースの設定 .....	79
コマンドと応答 .....	80
電源状態コマンド .....	82
入力コマンド .....	84
明るさコマンド .....	84
フリーズコマンド .....	85
スクリーンシェードのコマンド .....	85
ボリュームコマンド .....	85
ミュートコマンド .....	85
ファームウェアバージョンのコマンド .....	86
シリアル番号のコマンド .....	86
パーツ番号のコマンド .....	86
RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決 .....	87
<b>証明書およびコンプライアンス .....</b>	<b>88</b>

# 第1章 ようこそ

本ガイドについて .....	8
ディスプレイについて .....	9
タッチ .....	9
書き込み、描画、消去 .....	10
追加のペンとツールのサポート .....	10
iQの使用 .....	10
ディスプレイ .....	10
オーディオ .....	11
ネット ワーク接続 .....	11
教室のコンピューターとゲストのノートパソコン .....	11
アクセサリスロット .....	12
操作 パネル .....	12
近接センサー .....	12
周囲光センサー .....	13
リモコンと赤外線センサー .....	13
温度および湿度センサー .....	13
マイクアレイ .....	14
NFCサインイン .....	14
取付金具 .....	14
取付ポイントアクセサリ .....	14
モデルの見分け方 .....	14
アクセサリ .....	16
ペン用のアクセサリキット .....	17
Tool Explorerが有効なオブジェクト および操作 .....	17
SMART OPS PCモジュール .....	17
スタンド .....	17
USB延長ケーブル .....	18
詳細情報 .....	18

この章はSMART Board® 6000Sそして6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイの紹介です。

## 本ガイドについて

このガイドはSMART Board 6000Sまたは6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイのインストールとメンテナンスについての説明書です。次の情報が含まれています。

- ディスプレイを設置する方法
- 電源とデバイスを接続する方法

- 最初にディスプレイをオンにしてiQエクスペリエンスを設定する方法
- 長年使用したディスプレイをメンテナンスする方法
- ディスプレイに関する問題をトラブルシューティングする方法

このガイドにはさらにディスプレイのセッティングとリモート管理サポートの情報が含まれています。

このガイドは、本ディスプレイの設置およびメンテナンス担当者向けに作成されています。追加の情報、リソースがディスプレイユーザーに利用可能です(18 ページ 詳細情報を見る)。

## ディスプレイについて

iQ搭載SMART Board6000S または 6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイは、教室や会議室の中心となってお役に立ていただけます。

### 注記

SMART Board 6000S (V3) モデルには、次のような機能が搭載されています。SMART Board 6000S および 6000S (C) モデルにはマイクアレイが搭載されておらず、センサーはディスプレイのフレーム左上に配置されています。

このディスプレイには様々な機能と部品が含まれています：



## タッチ

ディスプレイの表面にタッチすることにより—アプリケーションの開閉、他の人と会う、新規ドキュメントの作成または既存のもの編集、ウェブサイトの閲覧、ビデオの再生と操作等—コンピューターで行えることはディスプレイですべて行うことができます。

パン、スケーリング、回転、ズームイン、ズームアウトなど、アプリケーション内のジェスチャーの配列を使用できます。

このディスプレイの高度なHyPr Touch™と正確なInGlass™のタッチテクノロジーは、自然で直感的な書き込みとタッチを高い精度と素早い反応時間で実現します。さらにこのSilktouchのウルトラスムーズ仕上げはどれだけディスプレイを使用しても指を痛めません。

## 書き込み、描画、消去



ディスプレイにはブラックペンとレッドペンが付属し、スクリーンに書き込めます。

さらにディスプレイには2つのイレーサーが付属し、デジタルリンクを消すことができます。

Object Awarenessには使用したツールやオブジェクトにペンや指、手のひらであれ自動で反応します。ディスプレイのペンIDと同時ツール区別テクノロジーによって、複数の人が独立して同時に、異なる色で書き込めます。

## 追加のペンとツールのサポート

SMART Board 6000Sは、Tool Explorer™ プラットフォームを搭載しており、ディスプレイに付属するペンやツールの他に、SMART公認のペンやツールを使用することが可能です。Tool Explorerプラットフォームでは、教師や生徒が実世界のオブジェクトを操作して、画面上のオブジェクトやデジタルコンテンツと直感的に対話することができ、エンゲージメントと知識の定着が高まります。

ディスプレイ上での Tool Explorer 対応オブジェクトの使用についての詳細は、*SMART Board 6000S および 6000S Pro シリーズインタラクティブディスプレイユーザーガイド* ([smarttech.com/kb/171415](http://smarttech.com/kb/171415)) を参照してください。

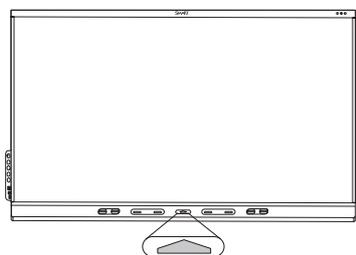
利用可能なツールキットの詳細については、[smarttech.com/kb/171796](http://smarttech.com/kb/171796) をご覧ください。

## iQの使用

iQエクスペリエンスを有効にすると、ホワイトボード、ワイヤレス画面共有、ウェブブラウザなどのコラボレーションツールにワンタッチでアクセスできるようになります。電線やケーブル、マニュアルソフトウェア、ファームウェアの更新等は不要です。

### 注記

スクリーンシェアなどの機能では、ネットワーク接続が正しく構成されている必要があります。



ディスプレイのホームボタン(図参照)を押す、またはリモコンでホームスクリーンを開く。ホーム画面からはiQアプリを開いたり、入力を切り替えたり、設定を調整したりできます。

## ディスプレイ

4KウルトラHD LEDディスプレイは最高の画像をクリアでワイドなアングルでお届けします。

画面サイズはモデルにより異なります：

モデル	画面サイズ (対角)
SBID-6265S-V3、SBID-6265S-V3-PW、SBID-6265S-V3-P、SBID-6065S-V3、SBID-6065S-V3-PW、SBID-6065S-V3-P、SBID-6465-V3-P SBID-6265S-C、SBID-6265S-CPW、SBID-6065S-C、SBID-6065S-CPW SBID-6265S、SBID-6265S-PW、SBID-6065S、SBID-6065S-PW、SBID-6065S-P	65"
SBID-6275S-V3、SBID-6275S-V3-PW、SBID-6275S-V3-P、SBID-6075S-V3、SBID-6075S-PW、SBID-6075S-V3-P、SBID-6475-V3-P SBID-6275S-C、SBID-6275S-CPW、SBID-6075S-C、SBID-6075S-CPW SBID-6275S、SBID-6275S-PW、SBID-6075S、SBID-6075S-PW、SBID-6075S-P	75"
SBID-6286S-V3、SBID-6286S-V3-PW、SBID-6286S-V3-P、SBID-6086S-V3、SBID-6086S-PW、SBID-6086S-V3-P、SBID-6486-V3-P SBID-6286S-C、SBID-6286S-CPW、SBID-6086S-C、SBID-6086S-CPW SBID-6286S、SBID-6286S-PW、SBID-6086S、SBID-6086S-PW、SBID-6086S-P	86"

## オーディオ

このディスプレイには二つの20Wスピーカーが内蔵されており、部屋の前面で音声を提供するように設計されています。

### ヒント

より広いスペースでサウンドを提供する場合は、外部オーディオシステムを接続することもできます(36 ページ [外部オーディオシステムの接続](#) を参照)。

## ネットワーク接続

このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアのアップデートをダウンロードするためのネットワーク接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。

Wi-Fiまたはインターネットケーブルをネットワーク接続のために使用可能です。

- Wi-Fiモジュールは2.4または5GHzをサポートします。
- 2つのRJ45ジャックを使用すればディスプレイとコンピュータなどの外部デバイスをイーサネットのネットワークに接続することができます。

詳細については、26 ページ [ネットワークに接続](#) を参照してください。

## 教室のコンピューターとゲストのノートパソコン

ルームコンピュータとゲストのノートパソコンをディスプレイに接続し、その入力を表示して操作することができます。

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできるSMARTソフトウェアが付属しており、接続されたコンピュータを使用しながらディスプレイの機能を最大限に活用できます。

詳細については、31 ページ [ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続](#) を参照してください。

## アクセサリスロット

SMART OPS PCモジュールなど、OPS互換デバイスをアクセサリスロットにインストールできます。

SMART OPS PCモジュールは、Windows®10 Proの完全なインストールを提供します。

SMART OPS PCモジュールの詳細については、17 ページSMART OPS PCモジュールを参照してください。

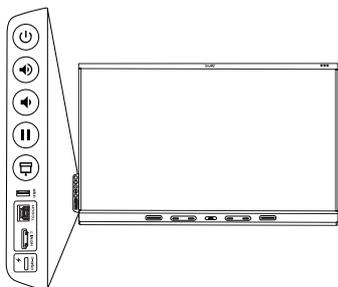
### ⚠ 注意事項.

- アクセサリスロットの最大利用可能電力は60wです。スロットには、電源の制限はありません。火災の危険性を減らすために、スロットに接続する付属品がIEC 62368-1の防火エンクロージャ要件を満たすことを確認します。
- ディスプレイの電源が入っている間は、アクセサリスロットからOPS PCまたはその他のデバイスを取り付けたり、取り外したりしないでください。AC電源入力横のディスプレイの背面の電源スイッチがOFF(O)になっていることを確認してください。

### 注記

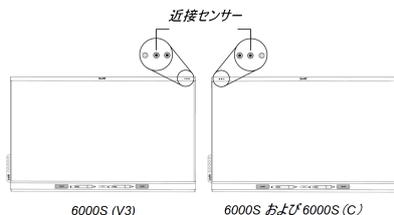
SMART Board 6000S および 6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイは、これまでのSMART Boardのインタラクティブディスプレイとは異なり、アクセサリスロットにiQ機器を装着する必要がありません。iQエクスペリエンスは、これらのインタラクティブディスプレイに組み込まれています(10 ページiQの使用を参照)。そのため、SMARTはこれらのディスプレイのアクセサリスロットにiQ機器をインストールすることをサポートしていません。ただし、AM50機器では、6000S および SMART Board 6000S (C) モデルでIntel Compute Cardを使用することができます。

## 操作パネル



コンビニエンスパネルにはディスプレイのON/OFFや、音量調整、画面の一時停止とその解除、スクリーンの表示/非表示のボタンがあります。また、USB接続周辺機器 およびコンピュータやその他入力電源用のコネクタも備えています(利用できるコネクタはモデルによって異なるので、31 ページルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続を参照)。

## 近接センサー



SMART Board 6000S (V3) モデルの場合、近接センサーはディスプレイのフレーム右上にあります。6000S および 6000S (C) モデルでは、センサーは左上隅にあります。

近接センサーは、ディスプレイが省エネモードになっているとき、約5m離れた人まで検知することができます。

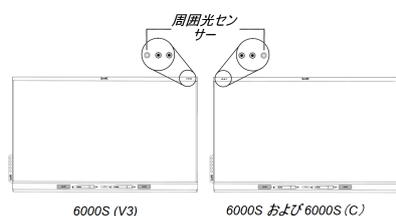
近接センサーが室内に人を検知すると、設定によってはディスプレイが点灯します。

一定期間、室内の無人状態が続くと、ディスプレイは省エネモードに戻ります。

### 注記

- 省エネモードの詳細については、28 ページ [省エネモードについて](#) を参照してください。
- SMART Board 6000S (V3) モデルの近接センサーは、ディスプレイがネットワークスタンバイ状態およびスタンバイ電源状態のときに反応します。6000S および 6000S (C) モデルでは、ディスプレイがネットワークスタンバイ電源状態のときのみ、近接センサーが応答します。
- センサーはガラスを通して人を検出できます。ディスプレイの設置場所にはこちらを参照 (21 ページ [壁へのディスプレイの設置](#) を見る)。センサーが窓に向くようにディスプレイを設置しない。

## 周囲光センサー

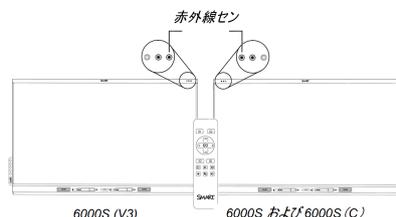


SMART Board 6000S (V3) モデルの場合、周囲光センサーはディスプレイのフレーム右上にあります。6000S および 6000 (C) モデルでは、センサーは左上隅にあります。

周囲光センサーは、検知した室内の明るさに応じて画面の明るさを調整します。

この機能を有効、無効、調整できます (54 ページ [設定の調整](#) を見る)。

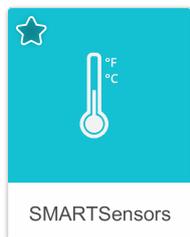
## リモコンと赤外線センサー



リモコンを使用して、ディスプレイのON/OFFやディスプレイの調整などを行うことができます。

SMART Board 6000S (V3) モデルの場合、IRセンサーはディスプレイのフレーム右上にあります。6000S および 6000 (C) モデルでは、センサーは左上隅にあります。

## 温度および湿度センサー



ディスプレイには温湿度センサーが内蔵されており、ディスプレイの環境条件をリアルタイムに測定・記録することができます。このデータは、ディスプレイのアプリライブラリの温湿度アプリを使用して簡単にアクセスできます。

### 注記

iQが有効なときのみ温度と湿度センサーが利用可能です。

## マイクアレイ

この機能は、SMART Board 6000S (V3) および SMART Board 6000S (V3) Pro モデルでのみ使用可能です。



### 注記

SMART Board 6400S (V3) Proモデルには、マイクアレイは搭載されていません。

ディスプレイ上で会議アプリを使用しながら、ディスプレイ内蔵のマイクアレイを使用することができます。マイクアレイの採用により、音の検出力を向上させました。また、接続したコンピュータのマイクの代わりに、ディスプレイの内蔵マイクアレイを使用することもできます。

## NFCサインイン

このディスプレイでは、NFC(近距離無線通信)を使ってSMARTアカウントにサインインできます。SMART IDカードを画面にタップして、PINを入力するだけです。この機能により、ユーザー名やパスワードを入力することなく、サインインの時間を短縮することができます。

### 注記

NFCサインインは、iQを搭載したSMART Board 6000Sシリーズのディスプレイでのみ利用可能です。SMART IDカードのみ対応。

## 取付金具

ディスプレイにはWM-SBID-200ウォールマウントが付属しており、壁に取り付けることができます(21 ページ壁へのディスプレイの設置を見る)。

ディスプレイを壁またはモバイルスタンドにに取り付けることができます(16 ページアクセサリを見る)。

## 取付ポイントアクセサリ

ディスプレイの左上と右上には、SMARTが認定したアクセサリを取り付けるためのM4取り付け位置を備えています。

## モデルの見分け方

SMARTはSMART Board 6000S そして6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイの様々なモデルを紹介します:

モデル/SKU	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ内蔵コンピューティング	マイクアレイ
<b>6000S (V3)</b>				
SBID-6265S-V3	White	65"	はい	はい
SBID-6275S-V3	White	75"	はい	はい

モデル/SKU	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ内蔵コンピューティング	マイクアレイ
SBID-6286S-V3	White	86"	はい	はい
SBID-6065S-V3	白	65"	いいえ	はい
SBID-6075S-V3	白	75"	いいえ	はい
SBID-6086S-V3	White	86"	いいえ	はい
<b>6000 (V3) Pro</b>				
SBID-6265S-V3-PW	White	65"	はい	はい
SBID-6275S-V3-PW	White	75"	はい	はい
SBID-6286S-V3-PW	白	86"	はい	はい
SBID-6065S-V3-PW	White	65"	いいえ	はい
SRBID-6075S-V3-PW	White	75"	いいえ	はい
SBID-6086S-V3-PW	White	86"	いいえ	はい
SBID-6265S-V3-P	黒	65"	はい	はい
SBID-6275S-V3-P	黒	75"	はい	はい
SBID-6286S-V3-P	黒	86"	はい	はい
SBID-6065S-V3-P	黒	65"	いいえ	はい
SBID-6075S-V3-P	黒	75"	いいえ	はい
SBID-6086S-V3-P	黒	86"	いいえ	はい
SBID-6465S-V3-P	黒	65"	いいえ	いいえ
SBID-6475S-V3-P	黒	75"	いいえ	いいえ
SBID-6486S-V3-P	黒	86"	いいえ	いいえ
<b>6000S (C)</b>				
SBID-6265S-C	White	65"	はい	いいえ
SBID-6275S-C	White	75"	はい	いいえ
SBID-6286S-C	White	86"	はい	いいえ
SBID-6065S-C	White	65"	いいえ	いいえ
SBID-6075S-C	White	75"	いいえ	いいえ
SBID-6086S-C	White	86"	いいえ	いいえ
<b>6000S (C) Pro</b>				
SBID-6065S-CPW	White	65"	はい	いいえ
SBID-6275S-CPW	White	75"	はい	いいえ
SBID-6286S-CPW	White	86"	はい	いいえ

モデル/SKU	フレームのスタイル	画面サイズ(概寸)	iQ内蔵コンピューティング	マイクアレイ
SBID-6065S-CPW	White	65"	いいえ	いいえ
SBID-6075S-CPW	White	75"	いいえ	いいえ
SBID-6086S-CPW	White	86"	いいえ	いいえ
<b>6000S</b>				
SBID-6265S	White	65"	はい	いいえ
SBID-6275S	White	75"	はい	いいえ
SBID-6286S	White	86"	はい	いいえ
SBID-6065S	White	65"	いいえ	いいえ
SBID-6075S	White	75"	いいえ	いいえ
SBID-6086S	White	86"	いいえ	いいえ
<b>6000S Pro</b>				
SBID-6265S-PW	White	65"	はい	いいえ
SBID-6275S-PW	White	75"	はい	いいえ
SBID-6286S-PW	White	86"	はい	いいえ
SBID-6065S-PW	White	65"	いいえ	いいえ
SBID-6075S-PW	White	75"	いいえ	いいえ
SBID-6086S-PW	White	86"	いいえ	いいえ
SBID-6065S-P	黒	65"	いいえ	いいえ
SBID-6075S-P	黒	75"	いいえ	いいえ
SBID-6086S-P	黒	86"	いいえ	いいえ

製品サイズや重量を含むこれらのモデルのテクニカルインフォメーションの仕様を参照(18 ページ 詳細情報を見る)。

## アクセサリ

ディスプレイのアクセサリは次の通りです:

- ペン用のアクセサリキット
- Tool Explorerが有効なオブジェクト および操作
- SMART OPS PCモジュール
- スタンド
- USB延長ケーブル

### 注記

さらなる情報もしくはその他のアクセサリについては[smarttech.com/accessories](https://smarttech.com/accessories)をご覧ください。

## ペン用のアクセサリキット

ペンのアクセサリキットには、ブルー、グリーン、パープル、オレンジのペンと、ディスプレイの側に取り付けることができるホルダーが含まれています。

## Tool Explorerが有効なオブジェクトおよび操作

ディスプレイのTool Explorerプラットフォームでは、ディスプレイの画面に触れた瞬間に自動的に認識されるさまざまなペン、オブジェクト、操作を使用できます。

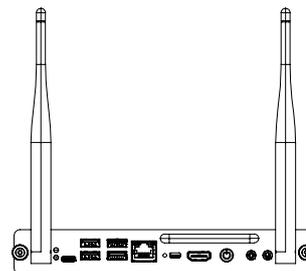
### 注記

ディスプレイのモデルによって、ペンやオブジェクト、具体物のサポートが異なります。

SMART Board 6000S および 6000S Pro ユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171415](https://smarttech.com/kb/171415)) を参照してください。

## SMART OPS PCモジュール

SMART Open Pluggable Specification (OPS) PCモジュールは、手間のかからないWindows Pro搭載のIntel® Core™プロセッサをベースとしており、SMARTのディスプレイと連携するように特別に設計されています。すべてのOPS PCモジュールはWHQL認証を受けており、Windows Proのライセンスを取得しています。OPS PCモジュールをディスプレイのアクセサリスロットに取り付けると、外付けPCや追加のケーブルを必要とせずに完全な4K UHD Windowsインストールが簡単に提供されます。



SMART Notebook®や、SMART TeamWorks™、SMART Meeting Pro®のような使い慣れたWindowsアプリケーションソフトウェアをインストールしてディスプレイのネットワーク接続を通して直接インターネットにアクセスしましょう。OPS PCモジュールのサービスとアップグレードはディスプレイをマウントから取り外すことなく簡単に行えます。

### 注記

コンピュータの要件については、アプリケーションの仕様を参照してください。

## スタンド

ディスプレイを移動したい場合は、SMARTモバイルスタンドに取り付けることができます。もしディスプレイの全重量を支える事ができない壁に設置する場合は、ディスプレイをSMARTフロアスタンドに取り付けることもできます。

## USB延長ケーブル

ディスプレイの仕様に記載されているように、ディスプレイとコンピュータ間のUSBケーブル接続には最大長があります。

USB2.0を使用する場合ケーブルの長さは5 m以下である必要があります。

USB3.0を使用する場合ケーブルの長さは3 m以下である必要があります。

より長いUSB接続が必要な場合は、USB延長ケーブルをご使用ください。詳しくは、[USB延長ケーブル](#)をご覧ください。

## 詳細情報

SMARTはSMARTウェブサイトサポートセクション([smarttech.com/support](http://smarttech.com/support))にて種々の、その他のドキュメントを提供しています。ガイドの表紙のQRコードをスキャンし、SMART Board 6000Sそして6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイドキュメントとその他のサポートリソースをご覧ください。

## 第2章 ディスプレイの設置

ディスプレイの設置場所への移動	19
移動用の補助具の使用	20
出入り口、廊下、エレベーターでの移動	20
割れ、欠け、砕けたガラスの処置	20
納品時の梱包材の保管	21
壁へのディスプレイの設置	21
設置場所の選択	21
設置高さの選択	23
壁の状態	23
取付金具の選定	23
ウォールマウントの選択	24
ディスプレイの取付け	24
複数のディスプレイを取り付け	25
スタンドにディスプレイを設置します。	25
SMART可動スタンドの使用	25
サードパーティー製スタンドの使用	26
ネットワークに接続	26
電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際	27
省エネモードについて	28

SMARTはディスプレイを設置する設置者の方のみが訓練するのを推奨します。

本章は設置作業向けに作成されています。設置作業を行う人は、本章の情報と製品付属の設置手順書をよく読んだ上で設置作業を開始してください。

### ⚠ 警告

ディスプレイの不適切な設置は、怪我や製品の損傷の原因になります。

## ディスプレイの設置場所への移動

ディスプレイが届いたら、設置を予定している場所に移動させる必要があります。

最初にディスプレイを設置した後、別の場所に移動する必要がある場合もあります。

### ❗ 重要事項

- ディスプレイの移動はお客様の責任で行ってください。SMARTは、ディスプレイの移動中に生じた製品への損傷や作業員の怪我については責任を負いません。

- ディスプレイの移動時：
  - 設置場所の安全規則と基準にしたがってください。
  - ディスプレイをパレットとともに元の梱包にバックしてください。
  - 上部のフレームが上を向くようにディスプレイを移動します。
  - ディスプレイの移動するには、少なくとも2人で持ちます。

#### ヒント

ディスプレイの梱包材に前面を示すラベルが付いている場合があります。移動中の箱の向きを決める際、梱包に"FRONT"の表示を探してください。

### 移動用の補助具の使用

ディスプレイの移動には、次のような補助装置を使用することができます。

- カート
- 家具用台車
- 吊り上げ装置

### 出入り口、廊下、エレベーターでの移動

状況によっては、狭い出入り口や廊下、エレベーターに通すためにディスプレイの保護材を外す必要もあります。この場合、緩衝材をディスプレイの角に設置してください。これは、移動中にディスプレイをいったん床に降ろす必要が生じた際に、ディスプレイを保護するためです。

また、ディスプレイを横向きにする必要のある場合もあります。ディスプレイは移動のために横向きにすることはできますが、設置は必ず縦向きに(上枠が上側になるように)しなければなりません。

### 割れ、欠け、砕けたガラスの処置

ディスプレイには安全強化ガラスが使用されています。このガラスは衝撃に耐える熱強化ガラスですが、相当な力で衝撃が加わると割れたり欠けたり、粉々に砕けることがあります。(強化ガラスは、割れても鋭利な破片にはならず細かく砕けるようにできています。)温度変化によって小さなひび割れや断片が広がり、ガラスが粉々に砕けることもあります。使用していない場合でもディスプレイのガラスが粉碎する状況については、ナレッジベースの記事、[インタラクティブディスプレイのガラスの破損](#)を参照してください。

ディスプレイのガラスに割れや欠けが生じた場合、専門的な検査の上でSMART認定の修理センターで修理を行います。ディスプレイのガラスが粉碎した場合は、周辺を丁寧に掃除し、ディスプレイを修理または交換してください。

#### ⚠ 警告

ガラスに割れや欠けが生じたり粉碎した場合は、安全上の理由および損傷が悪化することを防ぐため、ディスプレイの設置作業や使用を中断してください。

## 納品時の梱包材の保管

納品時に付属していた梱包材は可能な限り保管しておき、設置したディスプレイを再度移動させる時にご使用ください。この梱包材には、衝撃や振動からディスプレイを保護する目的があります。

### 注記

納入時の梱包材を使用できない場合には、同じ梱包材を、SMART認定販売店から直接ご購入いただけます ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where))。

### ⚠ 注意事項

ディスプレイの移動時には、納品時の梱包材または、SMARTの認定販売業者から購入した交換用の梱包材のみを使用してください。正しい梱包材で保護せずにディスプレイを移動すると、ディスプレイが損傷し、保証が無効になる場合があります。

## 壁へのディスプレイの設置

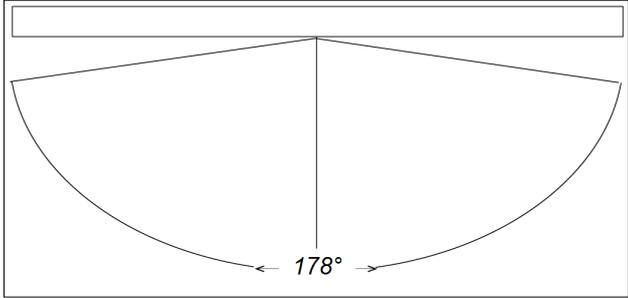
基本的に、ディスプレイは教室や会議室の壁に設置します。

### 設置場所の選択

ディスプレイは通常、教室や会議室の正面などの部屋の中心となる位置に設置します。

ディスプレイを快適に利用できるよう、ディスプレイに最適な設置場所を選ぶことが重要です。設置場所の選定について、次の要素を考慮してください。

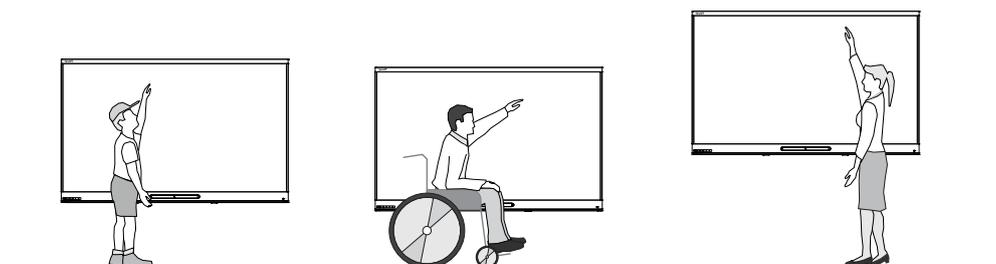
要素	検討内容
室内の状態	<ul style="list-style-type: none"><li>• 車椅子の人も含めたユーザーがアクセスできる場所。 地域のバリアフリーに関する規則を参考にしてください。</li><li>• この場所は同時に複数の方がディスプレイにアクセスできます。</li><li>• 人の動線を考慮し転倒の危険性がない場所。</li><li>• ドアやゲートがぶつかるおそれのある場所には設置しない。</li><li>• ラジエーターや排熱ベントなどディスプレイに向けられた熱源が近くにないこと。</li><li>• ディスプレイに当たる可能性のあるドアや引出しのある棚ユニット、机または他の家具はありません。</li><li>• 家具、壁の装飾、その他ライトスイッチや温度計などディスプレイの妨げになるまたはディスプレイが様食べるもの無き事。(移動できるものがあれば、移動させた上でディスプレイを設置してもよい。)</li></ul>

要素	検討内容
電源その他の接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 設置場所は以下に近接しています：                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 電源コンセント</li> <li>◦ ネットワーク接続 (有線ネットワーク接続を使用する場合)</li> <li>◦ 室内のコンピューター (室内のコンピューターに接続する場合)</li> <li>◦ このディスプレイに接続したい外部オーディオシステムおよびその他のデバイス</li> </ul> </li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 近くに電源コンセントがない場合、電気工事業者に相談してください。</li> <li>◦ 電源タップ、追加のケーブル、および延長ケーブルなどが必要かどうかを判断してください。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物の主電源の引き込み口ではない。</li> </ul>
見やすさ	<p>室内の全員からディスプレイがはっきり見える。SMARTでは、178°の視野角内に座ることを推奨します。</p>  <p><b>注記</b></p> <p>画面の見える範囲は、ディスプレイの解像度のほか様々な要因により異なります。詳細に関しては、<a href="#">ナレッジベースの記事</a>、<a href="#">SMART Boardインタラクティブディスプレイの推奨視聴距離および角度を参照してください</a>。</p>
照明	<p>窓際や強力な天井照明などの明るい光源から離れた場所。</p> <p>光源によりディスプレイの画面にグレアが生じることがあり、これにより視界が制限されます。また、強い赤外線発生源は、ディスプレイのタッチシステムに影響を与える可能性があります。</p> <p><b>ヒント</b></p> <p>光の干渉を低減するには、窓や天窓にブラインドやシェードを設置し、ディスプレイ画面に光が届く照明については調光や消灯操作の可能なスイッチを設置します。太陽光は、季節により窓から差し込む角度が異なることに注意してください。</p>
音響	<p>部屋の音響効果は良好(最高の音響効果を実現するためにSMART Board 6000Sを設定するを見る)。</p>

要素	検討内容
環境と換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>この場所はディスプレイの仕様の環境要件を満たしています(18 ページ詳細情報を参照)。</li> <li>ディスプレイが強い振動や塵にさらされない。</li> <li>換気装置の空気がディスプレイに直接吹き付けない。</li> <li>ディスプレイ周辺に、ディスプレイと取付具から熱を逃すための十分な換気または空調が設置されている。SMART は、適切な通気を確保するためにディスプレイの全ての側面に少なくとも5 cmのスペースを推奨します。 SMART recommends at least 5 cm of space on all sides of the ディスプレイ for proper airflow.</li> <li>平らでない場所にディスプレイを設置する場合、排熱と換気のために最低10cmをディスプレイと壁の間にスペースを確保してください。</li> </ul>

## 設置高さの選択

ディスプレイの設置高さは、使用者全体の平均的な高さを考慮した上で決定します。



SMARTはディスプレイ上部をを床から1.9 mになるように設置することを推奨しています。

### 注記

参加者が(階段教室等の)急な傾斜のある場所に座る場合、設置高さや角度を調整する必要があります。

## 壁の状態

ディスプレイを設置する壁面が、ディスプレイや取付具の重量を支えられるかどうかを確認してください。もし可能でないなら、壁からフロアまでの重量のいくらかを分散できるSMARTウォールスタンドのご使用を検討してください([smarttech.com/accessories](http://smarttech.com/accessories)を見る)。

### 注記

ディスプレイの重量仕様を参照してください(18 ページ詳細情報を参照)。

状況により、壁がディスプレイを支えられるかどうかを判断するために、専門的な調査の依頼が必要になる場合があります。

## 取付金具の選定

設置に必要な取付金具は、ディスプレイを取り付ける壁の種類によって異なります。

SMARTウォールマウント(WM-SBID-200)を使用する場合、必要な取り付け金具については、ウォールマウントの図解付き取り付け説明書をご覧ください([smarttech.com/kb/171373](http://smarttech.com/kb/171373))。

## ウォールマウントの選択

ディスプレイの最適な設置場所は、壁です。壁がディスプレイの重量を支えることができない場合は、追加の金具を使用して、重量の一部を床面に逃がします。

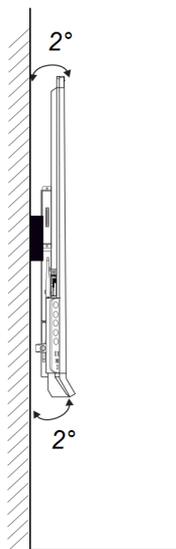
ディスプレイはWM-SBID-200ウォールマウント付きです。SMARTでは、このウォールマウントを使用してディスプレイを壁に取り付けることをお勧めします。

SMARTの取り付けオプションではなく、サードパーティ製のオプションを選択する場合は、そのウォールマウントがディスプレイの寸法に対応し、ディスプレイの重量と付属アクセサリの重量を支えられることを確認してください。

## ディスプレイの取付け

同梱されている取扱説明書に従ってディスプレイを取り付けます。さらに、以下をご確認ください。

- ディスプレイは垂直方向に(床を基準としてプラス90°または許容差マイナス2°)、横向きに取り付けます。SMARTは、他の角度や縦向きのディスプレイの取り付けをサポートしていません。



- ブラケット固定にウォールマウントを含むM8ボルトを使う。

### 注意事項

ボルトを締め付けすぎないでください。11-20 N・mの締め付け力を使用します。

- ディスプレイの設置後はレセプタクル等にアクセスしにくくなることもあるため、ディスプレイを設置する前に電源や室内のコンピュータその他デバイスを接続しておくことをお勧めします(29 ページコンピュータおよび他のデバイスの接続を参照)。

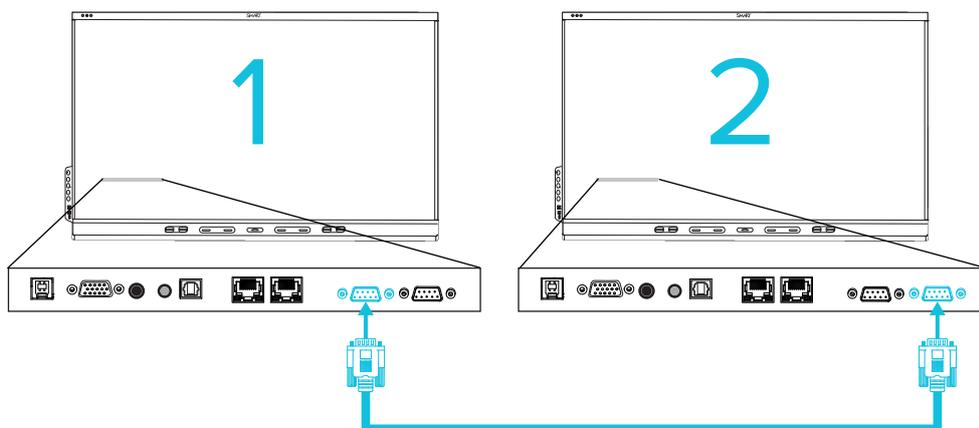
## 複数のディスプレイを取り付け

SMART Board 6000S (V3) および SMART Board 6000S (V3) Pro インタラクティブディスプレイでは、この機能は使用できません。



複数のディスプレイを並べて取り付ける場合は、RS-232ケーブルで接続してON/OFFができ、最初のディスプレイのコンビニエンスパネルからすべてのディスプレイをオンまたはオフにすることもできます。

一番左側のディスプレイ(正面から見た場合)が最初のディスプレイです:



### ❗ 重要事項

標準RS-232ケーブル以外は使用しないでください。ヌルモデムケーブルは使用しないでください。

### 注記

RS-232ケーブルリモート管理についての更なる情報は78ページRS-232を用いたSMART Board 6000S (C) または6000S シリーズディスプレイの管理をご覧ください。

## スタンドにディスプレイを設置します。

ディスプレイを移動したい場合や壁にディスプレイを設置できない場合は、スタンドに設置することができます。

### SMART可動スタンドの使用

SMART可動スタンドは、SMARTインタラクティブディスプレイ用に設計されています。高さ調整機能が付いています。一部のモデルには、内蔵スピーカーや、機器を固定するロック機能付きキャビネット、回転や固定を容易に行えるキャスターなどが付属しています。

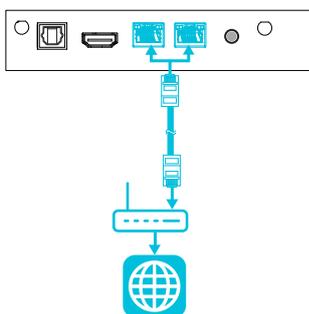
SMART可動スタンドの詳細に関しては、[smarttech.com/accessories](http://smarttech.com/accessories) を参照してください。

## サードパーティー製スタンドの使用

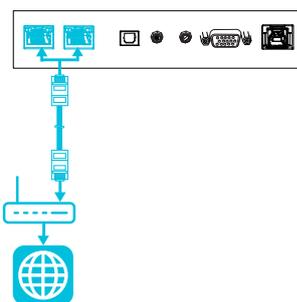
サードパーティー製のスタンドの選択及び仕様については [Installing your SMART Board 6000S on a stand](#) をご覧ください。

## ネットワークに接続

このディスプレイには、ソフトウェアとファームウェアの更新をダウンロードするためのネットワークとインターネットの接続が必要で、多くのiQアプリにもネットワーク接続が必要です。Wi-Fiでネットワークに接続するか、Wi-FiまたはRJ45ジャックの一つを使用してルーターに接続できます。



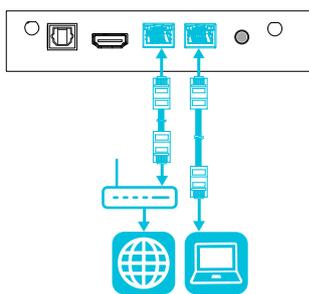
SMART Board 6000S (V3)



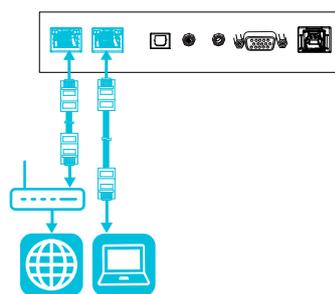
SMART Board 6000S および 6000S (C)

### ヒント

ディスプレイのRJ45ジャックをネットワークへの接続に使用する場合、コンピューターからネットワークへのアクセス用には別のRJ45ジャックを接続することができます(図)。これは室内に有線ネットワーク接続が見つからない場合に役立ちます。ネットワークアクセスは、[設定]で[ネットワークスタンバイ]が有効になっている場合に使用できますが、[設定]で[スタンバイ]が有効になっている場合は使用できません。



SMART Board 6000S (V3)



SMART Board 6000S および 6000S (C)

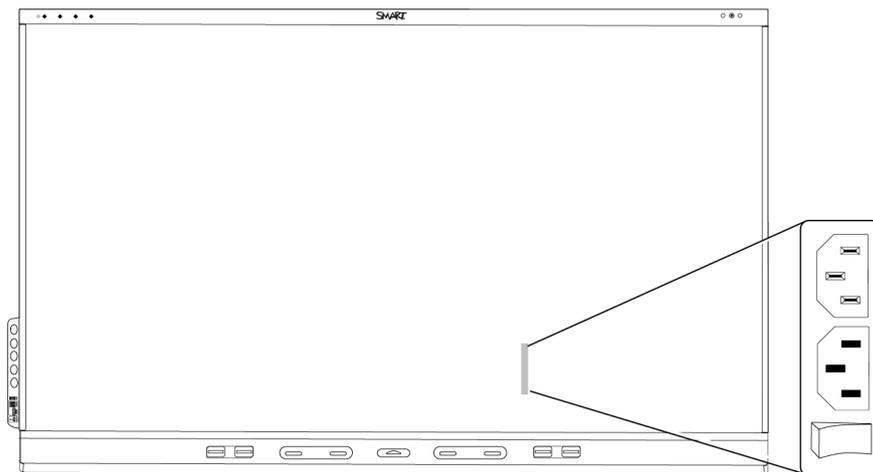
ディスプレイのネットワーク接続と設定の詳細に関しては、[iQ搭載SMARTディスプレイのネットワークへの接続](#)を参照してください。

## 電源の接続とディスプレイに初めて電源を入れる際

このディスプレイの設置と構成の最後のステップは、電源を接続して電源を入れることです。このディスプレイを初めてオンにするとセットアップウィザードが表示されます。ウィザードの手順に従ってセットアップを完了します。

### ディスプレイの電源への接続

付属の電源ケーブルでコンセントとディスプレイ背面のAC電源入力を接続します。



#### 注記

- 電力要件と消費電力についてはディスプレイの仕様を参照してください(18 ページ詳細情報を参照)。
- ディスプレイ背面のAC power出力の定格は250 Wです。

### ディスプレイへの初回電源投入と設定

#### ❗ 重要事項

ディスプレイをONにする前にOPS PCモジュールをインストール。

#### 注記

USBドライブがディスプレイのサービスポートに接続されている場合USBドライブを外さないで下さい。このUSBドライブには重要なファームウェアの更新情報が含まれています。

- AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。
- フロントコントロールパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。
- 希望の言語を選択し、次へをタップします。
- 国名を選択し、次へをタップします。
- タイムゾーンを選択し、次へをタップします。
- 日付を設定し、次へをタップします。

- 時刻を設定し、**次へ**をタップします。
- ディスプレイに名前を付け、**次へ**をタップします。
- ディスプレイで有線ネットワーク接続を使用しない場合、無線ネットワークを選択し、**次へ**をタップします。

#### ❗ 重要事項

このディスプレイには、重要な更新をダウンロードしてインストールするためのインターネット接続が必要です。ネットワーク管理者に依頼し、ネットワークがiQ用に正しく設定されていることを確認してください。ネットワーク設定の詳細に関しては、[iQ搭載SMARTディスプレイのネットワークへの接続](#)を参照してください。

#### 注記

重要なアップデートをダウンロード、インストールするためのインターネット接続が利用可能でないなら、[46 ページシステムソフトウェアの手動更新](#)をご覧ください。

- アプリライブラリに表示させたいアプリを選択し、**次へ**をタップしてください。

#### ヒント

アプリライブラリに表示するアプリを変更するには、[56 ページランチャー](#)を参照してください。

- 完了**をタップします。

ようこそ画面が表示されます。

## 省エネモードについて

ディスプレイには、いくつかの省エネモードがあります。

- ネットワークスタンバイ: 電源ボタン  を押すか、近接センサーが室内の人を検出したときにディスプレイがすぐにオンになる低電力状態。
- スタンバイ: 電源ボタン  を押すとディスプレイが点灯する、非常に低い電力状態。この電源状態では、近接センサーがディスプレイをオンにしません。

スタンバイは、EU内の場所に設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。他の場所では、ネットワークスタンバイがデフォルトの省エネモードです。ディスプレイの省エネモードは、**[設定] > [システム設定] > [電源] > [スタンバイ (シャットダウン)]** または **[設定] > [システム設定] > [電源] > [ネットワークスタンバイ (スリープ)]** から選択できます。

# 第3章 コンピュータおよび他のデバイスの接続

SMARTソフトウェアのインストール	29
ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続	31
接続したコンピューターの入力の表示	32
接続されたコンピュータの解像度とリフレッシュレートの設定	32
推奨ケーブルの使用	33
USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続	34
接続されているコンピュータのトラブルシューティング	34
SMART OPS PCモジュールの接続	34
その他のデバイスの接続	34
USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続	34
外部ディスプレイの接続	35
外部オーディオシステムの接続	36
室内コントローラの接続	37
コネクタ図	37
SMART Board 6000S (V3) コネクタパネル	37
SMART Board 6000S (C) および 6000S コネクタパネル	39
コンビニエンスパネル	40

## ⚠ 警告

床に配線されたディスプレイのケーブル類は、適切に束ねた上で、つまずきの危険防止標識が付けられていることを確認してください。

## SMARTソフトウェアのインストール

このディスプレイには接続されたコンピュータにインストールできる次のソフトウェアが付属しています：

ソフトウェア	説明	注
SMART Notebook	SMART Boardインタラクティブディスプレイで使用するために設計された無料のソフトウェア。SMART Notebookソフトウェアには、学生のための魅力的なレッスンを作成、編集、提供するために使用できる多くの機能が付属しています。	<a href="#">SMART Notebookの詳細を知る</a> を参照してください。

ソフトウェア	説明	注
SMART Meeting Pro	事実上無制限のインタラクティブなワークスペースでアイデアを捉えることができるソフトウェアです。	Proモデルのみ。
SMART Product Drivers	コンピュータがディスプレイからの入力を検出できるようにするソフトウェアです。	SMART NotebookベーシックおよびSMART Meeting Proのソフトウェアに含まれています。
SMART Ink	アプリケーションや、ファイル、フォルダ、ウェブサイト、およびその他の開いているウィンドウの上にデジタルインクで書き込みおよび描画できるソフトウェアです。	SMART NotebookベーシックおよびSMART Meeting Proのソフトウェアに含まれています。
SMART Remote Management	リモート管理、サポート、コントロール、そしてディスプレイとその他のデバイスのセキュリティのためのクラウドベースモバイルデバイスマネジメントソフトウェア。	付属の保証期間のサブスクリプション <sup>1</sup>

### ヒント

他のコンピューターにもインストールするには、SMARTソフトウェアのための追加ライセンスまたはサブスクリプションを購入できます。

以下のソフトウェアも用意されていますが別売りです：

ソフトウェア	説明	ライセンスの詳細
SMART Learning Suite	レッスン提供、アクティビティ、評価、共同ワークスペースを組み合わせたデスクトップとオンラインソフトウェアのセット。SMART Notebook PlusソフトウェアおよびLumio™ by SMARTが含まれます。	シングルプランとグループプランのサブスクリプションが可能です。 <a href="https://smarttech.com/lumio/pricing">smarttech.com/lumio/pricing</a> をご覧ください。
SMART TeamWorks Room	ミーティングをシンプルに、さらに容易に、離れた場所の人も参加者ももっと自然に交流できるソフトウェア。	1年間のサブスクリプション <sup>2</sup>

SMARTソフトウェアの購入については、SMART正規販売店 ([smarttech.com/where](https://smarttech.com/where)) にお問い合わせください。

SMARTソフトウェアを[smarttech.com/downloads](https://smarttech.com/downloads)からダウンロードし、SMART Notebookのインストールおよびメンテナンス、SMART TeamWorksのインストールまたはSMART Meeting Proのインストールおよびメンテナンスの手順に従ってインストールしてください。

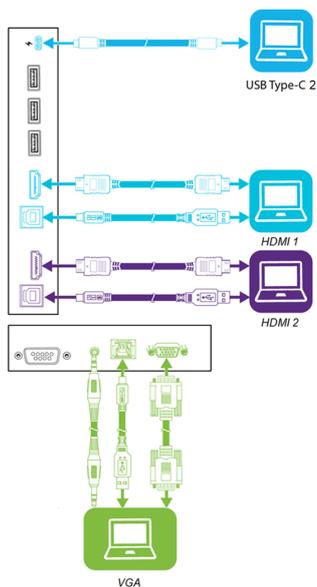
<sup>1</sup>サブスクリプション条件は地域によって異なる場合があります。

<sup>2</sup>Proモデルのみ。

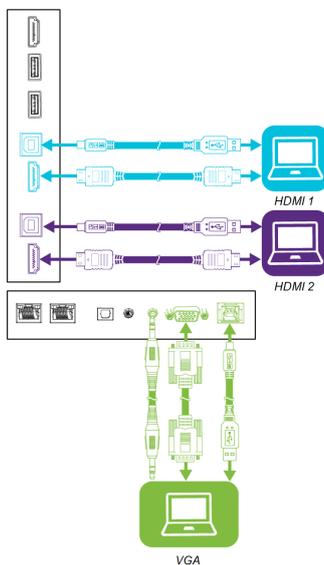
## ルームコンピュータとゲストのノートパソコンの接続

ルームコンピュータとゲストのノートパソコン用のケーブルを接続できます。ケーブルを先にインストールしておくことによって、壁にディスプレイを取り付けた後、使用できなくなる恐れのあるコネクタを有効利用できます。接続したケーブルは、適宜、床や壁裏などに配線します。

コネクタパネル

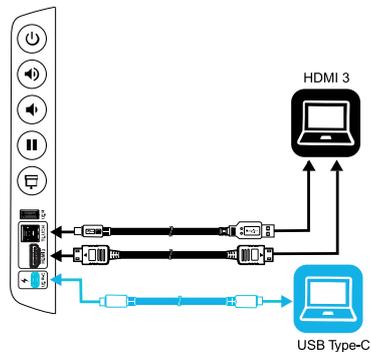


SMART Board 6000S (V3)

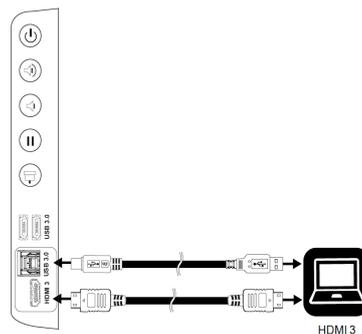


SMART Board 6000S および 6000S (C)

コンビニエンスパネル



SMART Board 6000S (C) および 6000S (V3)



SMART Board 6000S

### 注記

- SMARTソフトウェアをディスプレイに接続しているコンピュータにインストールする(29 ページ SMARTソフトウェアのインストールを見る)。
- USB Type-Cレセプタクルに接続したデバイスを充電することができます。SMART Board 6000S (V3)モデルは、接続されたデバイスに最大65Wを供給できます(背面コネクタパネルのUSB-C 2と書かれたUSB Type-Cレセプタクルは、OPS PCモジュール装着時に30Wを供給します)。SMART Board 6000S (C)モデルのUSB Type-Cレセプタクルは、最大60Wまで供給可能です。

## 接続したコンピューターの入力の表示

接続したコンピューターからの入力をディスプレイ上に表示するには、Inputアプリを使用します。

### 接続されているコンピューターの入力を表示する

1. ディスプレイにコンピューターを接続します。
2. 次のいずれかの操作を行ってください:

iQが有効な場合	iQが無効な場合
ホーム画面の入力  をタップします。 または リモコンの入力  を押してください。	リモコンのホームボタン  または入力ボタン  を押してください。

ディスプレイに接続しているデバイスがサムネイルとして表示されます:

- 画像が灰色表示の場合、デバイスは入力ポートに接続されていません。
- サムネイルが黒の場合、デバイスは入力ポートに接続されていますが、スリープモードになっています。
- プレビュー画面を表示している画像は、アクティブなデバイスが入力ポートに接続されていることを示します。

### ヒント

iQが無効になっていて、ディスプレイを起動するたびにコンピューターの入力を表示したい場合は、コンピューターのサムネイルの左上隅にあるスターをタップします。

3. コンピューターの画像をタップします。

## 接続されたコンピューターの解像度とリフレッシュレートの設定

この図はディスプレイの入力の推奨解像度とリフレッシュレートを提示します。

入力ソース	解像度	リフレッシュレート
HDMI 1	3840 × 2160	60 Hz
HDMI 2	3840 × 2160	60 Hz

入力ソース	解像度	リフレッシュレート
HDMI 3	3840 × 2160	60 Hz
VGA	1920 × 1080	60 Hz
USB Type-C	3840 × 2160	60 Hz

可能ならば、これらの解像度とリフレッシュレートに接続されたコンピューターを設定してください。コンピューターのオペレーティングシステムの説明書をご覧ください。

## 推奨ケーブルの使用

SMARTは以下のケーブルの使用を推奨しています。

ケーブル種類	最大長さ	推奨
HDMI	7m <sup>3</sup>	必要な性能規格をサポートする検査済認定プレミアム高速HDMIケーブルのみを使用してください。
VGA	7 m	ピンが完全に断線のないVGAケーブルを使用してください。
ステレオ3.5mm	6 m	[N/A]
USB 2.0	5 m	コンピューターとディスプレイの間が5 mを超える場合は、USBエクステンダーを使用します。詳細については、18 ページUSB延長ケーブルを参照してください。 USB 2.0 ケーブルは、USB 2.0 または USB 3.0 レセプタクルに接続されているかどうかにかかわらず、ハイスピード (480 Mbps) をサポートします。スーパースピード (5 Gbps) の場合は、USB 3.0 ケーブルを USB 3.0 レセプタクルに接続してください。
USB 3.0	3 m	SMARTは、SMARTから購入された直接接続されたビデオおよびUSBケーブル、AC電源延長ケーブル、USB延長ケーブルのみをサポートしています。 指定よりも長いケーブルを使用される場合、より高グレードの製品を使用した方がよいでしょう。ケーブルまたは延長ケーブルを接続して問題が生じている場合、より短いケーブルを試してからSMARTのサポートまでお問い合わせください。
USB Type-C	SuperSpeed 5Gbps ケーブルは2m	USB-IF認定 USB3.2 第1世代 Type-C ケーブル、SuperSpeed(5 Gbps)対応 ビデオにUSBタイプCケーブルを使用するには次のものが重要です： <ul style="list-style-type: none"> <li>• SuperSpeed 5Gbps(または高速) のデータレートをサポートするフル機能のケーブル。</li> <li>• USB Type-C経由でディスプレイポート代替モードをサポートするコンピューター</li> </ul>

<sup>3</sup>7 m を超えるケーブルの性能はケーブルの品質に大きく依存します。

これらの最大長さを超えるケーブルを使用すると、画質の低下やUSB接続の劣化といった予期しない結果につながる可能性があります。

## USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続

ディスプレイに接続されたコンピュータのUSBプラグでUSBドライブや、周辺機器、その他のデバイスを使用する事ができます。

詳細については、34 ページ *USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続* を参照してください。

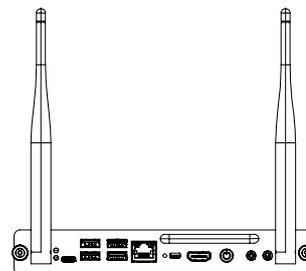
## 接続されているコンピュータのトラブルシューティング

接続されているコンピュータのトラブルシューティング情報については、47 ページ *トラブルシューティング* を参照してください。

## SMART OPS PCモジュールの接続

あなたまたはあなたの組織がSMART OPS PCモジュールを購入している場合、そのインストーラーはOPS PCモジュールインストール説明書に従って、ディスプレイ内のアクセサリスロットのOPS PCモジュールをインストールできます ([smarttech.com/kb/171544](http://smarttech.com/kb/171544))。その後、OPS PCモジュールの入力をディスプレイに表示できます。

SMART OPS PCモジュールの詳細については、*SMART OPS PC モジュールのユーザーガイド* ([smarttech.com/kb/171747](http://smarttech.com/kb/171747)) を参照してください。



## その他のデバイスの接続

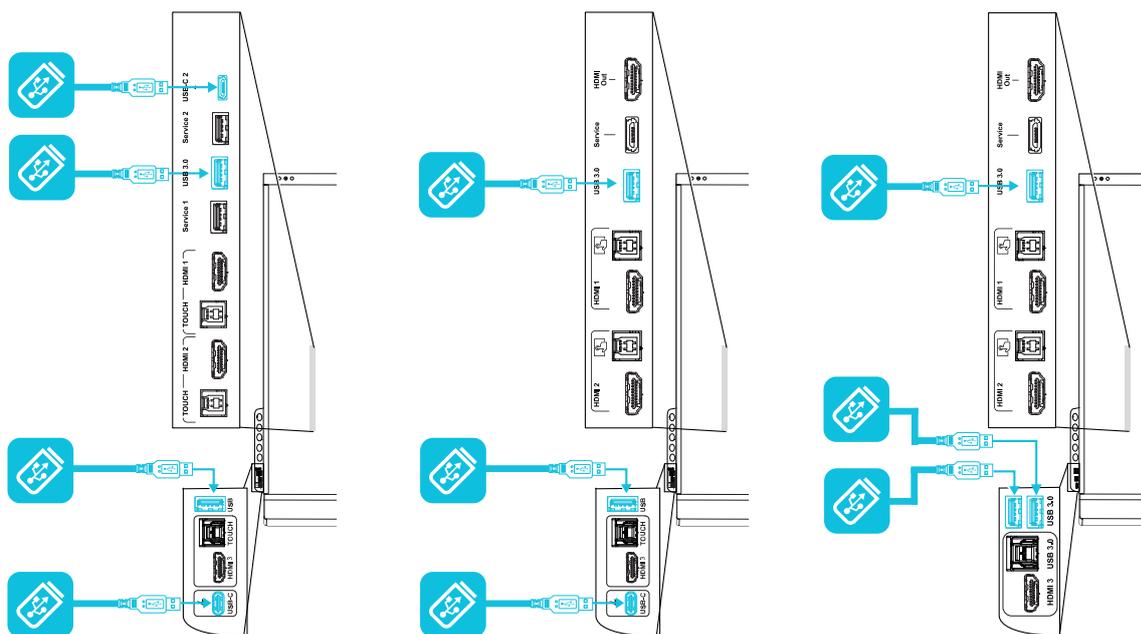
コンピューターに加えて、ディスプレイに次のデバイスを接続できます：

- USBドライブ、周辺機器、およびその他のデバイス
- 外部ディスプレイ
- 外部オーディオシステム
- 室内制御システム

## USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続

モデルによって、ディスプレイのコンビニエンスパネルにUSB Type-CレセプタクルとUSB 3.0 Type-Aレセプタクルを1つずつ、またはUSB 3.0 Type-Aを2つレセプタクル搭載しています(下記画像参照)。SMART Board 6000S (V3) モデルには、コネクタパネルにUSB Type-Cレセプタクルも搭載されています。すべてのモデルで、コネクタパネルにUSB3.0 Type-Aレセプタクルを1つ搭載しています。

コネクタにはUSBドライブ、周辺機器(キーボードなど)、その他のデバイスを接続したり、iQエクスペリエンスを備えたデバイス、接続されたコンピュータ、インストールされたデバイス(SMRT OPS PCなど)を使用できます。



SMART Board 6000S (V3)

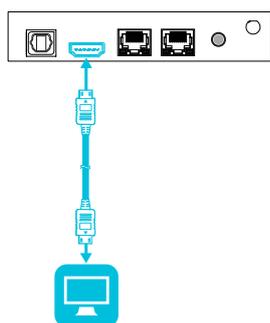
SMART Board 6000S (C)

SMART Board 6000S

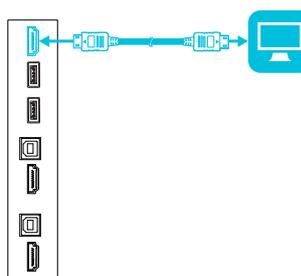
## 外部ディスプレイの接続

コネクタパネルのHDMI 2.0出力コネクタ(写真)を使用して外部ディスプレイを接続できます。この外部ディスプレイにも同じ画像が表示されます。この機能は、2 つ目のディスプレイがあれば便利な講堂やその他の広い空間でディスプレイを使用する場合に役立ちます。

### 注記



SMART Board 6000S (V3)



SMART Board 6000S および 6000S (C)

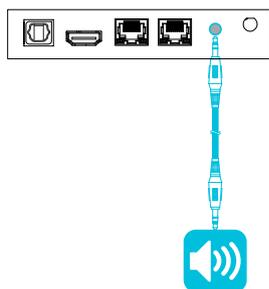
### ❗ 重要事項

接続されている外部ディスプレイがHDCPIに対応していない場合は、外部ディスプレイの画像の解像度は480pに制限されます。完全な解像度の出力をしたい場合は、HDCPIに対応したディスプレイを接続してください。

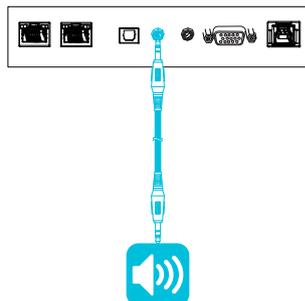
## 外部オーディオシステムの接続

ディスプレイにはスピーカー2台が付属し、これらスピーカーは室内の正面で音を出すよう設計されています。より広いスペースでサウンドを提供する場合は、外部オーディオシステムを接続する事もできます。

ステレオ3.5 mm出力コネクタ(写真)を使用して外部オーディオシステムをディスプレイに接続できます。これによりディスプレイの内部スピーカーが無効になります。室内のコンピューターに直接的に外部音声システムを接続する事もできます。

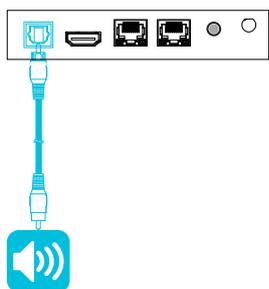


SMART Board 6000S (V3)

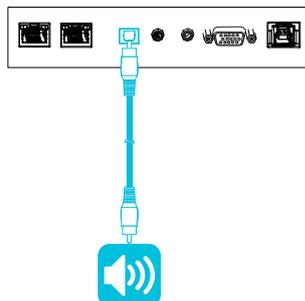


SMART Board 6000S および 6000S (C)

このディスプレイには3.5mmステレオ出力ポートに加えて、ソニー/フィリップスデジタルインターフェース(S/PDIF)出力ポートも搭載されています(写真)。S/PDIFは、デジタルオーディオを伝送する媒体です。この接続をアナログにデコードするには、S/PDIF入力を持つオーディオシステムが必要です。ほとんどの外部サウンドバーにはS/PDIFコネクタが付いています。



SMART Board 6000S (V3)



SMART Board 6000S および 6000S (C)

### 注記

- Sony/Philips Digital Interface (S/PDIF)出力コネクタを使用して外部スピーカーシステムをディスプレイに接続し、オーディオソースデバイスがHDMI2.0でディスプレイに接続されている場合、外部スピーカーシステムはHDCP 2.2をサポートしている必要があります。詳細につきましては、「[SMART Board インタラクティブフラットパネルおよび高帯域幅デジタルコンテンツ保護\(HDCP\)](#)」をご参照ください。

- S/PDIFオーディオは固定音量出力です。内蔵スピーカーのディスプレイの音量を調整しても、S/PDIFポートの音量出力には影響しません。

## 室内コントローラの接続

室内制御システムでは、部屋の照明、オーディオシステムとディスプレイを制御することができます。一部の設置のケースでは、ディスプレイを室内制御システムと統合させる必要があります。

サードパーティー外部コントロールシステムを接続するためにディスプレイのRS-232コネクタに使用できます(78ページRS-232を用いたSMART Board 6000S (C) または6000S シリーズディスプレイの管理または70ページSMART Board 6000S (V3) のディスプレイをRS-232で管理するをご覧ください)。

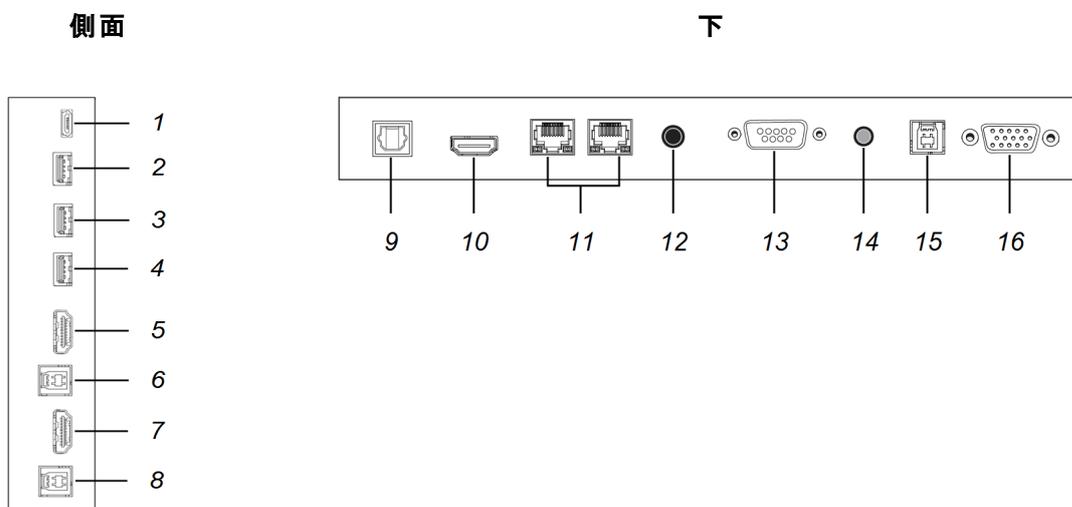
### 注記

ディスプレイは、ユニバーサルリモートコントロールなどの一元的な遠隔制御システムとの互換性はありません。

## コネクタ図

### SMART Board 6000S (V3) コネクタパネル

下の図表で、ディスプレイのコネクタパネルを説明します。

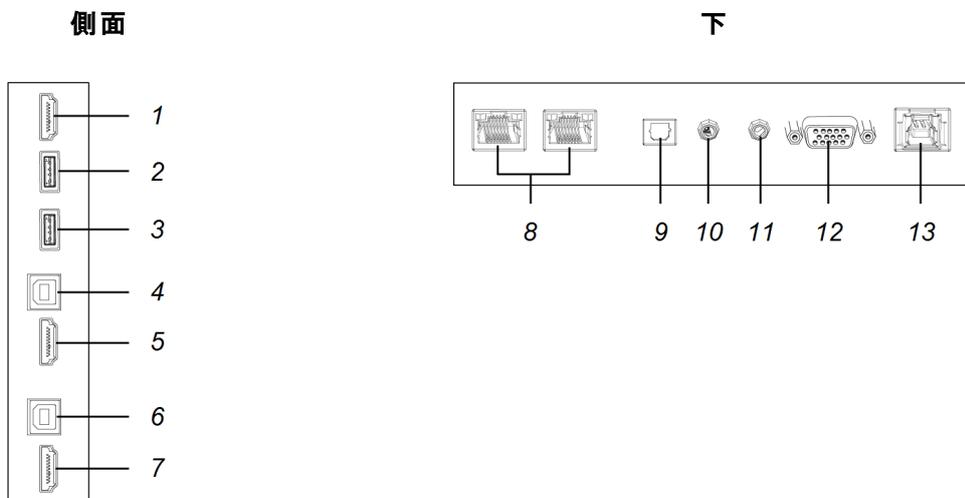


No.	コネクタ	接続先	注
1	USB Type-C	USB-C 2入力	31 ページ および <a href="#">USBケーブルとコネクタを参照してください</a> 。
2	USB3.0タイプ-A	[N/A]	このコネクタはサービスポートです (2)。

No.	コネクタ	接続先	注
3	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	34 ページ <u>USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続 および USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
4	USB2.0タイプ-A	[N/A]	このコネクタはサービスポートです (1)。
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</u>
6	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
7	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</u>
8	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
9	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	36 ページ および <u>デジタルオーディオケーブルおよびコネクタを参照してください。</u>
10	HDMI 2.0 OUT	外部ディスプレイ	35 ページ <u>外部ディスプレイの接続 および HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</u>
11	RJ45 (x2)	ネットワーク	26 ページ および <u>イーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタを参照してください。</u>
12	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	36 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタを参照してください。</u>
13	RS-232	室内制御システム	70 ページ <u>SMART Board 6000S (V3) のディスプレイをRS-232で管理する およびRS-232のケーブルおよびコネクタを参照してください。</u>
14	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	31 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタを参照してください。</u>
15	USB3.0タイプ-B	タッチ入力	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
16	VGA	VGA入力 (ビデオ)	31 ページ および <u>VGAケーブルとコネクタを参照してください。</u>

## SMART Board 6000S (C) および 6000S コネクタパネル

下の図表で、ディスプレイのコネクタパネルを説明します。

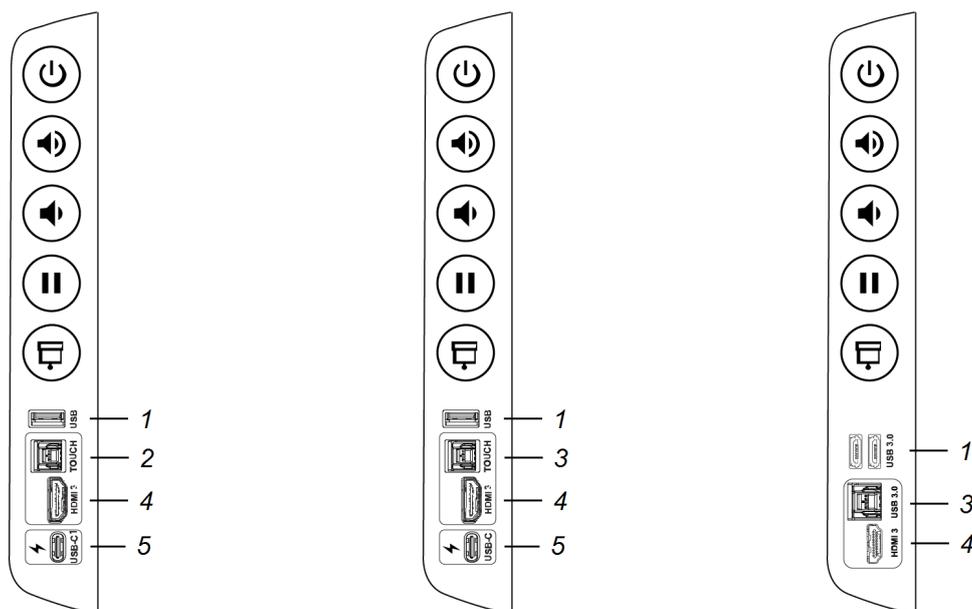


No.	コネクタ	接続先	注
1	HDMI 2.0 OUT	外部ディスプレイ	35 ページ外部ディスプレイの接続 および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
2	USB2.0タイプ-A	該当なし	このコネクタはサービスポートです。
3	USB3.0タイプ-A	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	34 ページUSBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続 および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
4	USB3.0タイプ-B	HDMI 1入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
5	HDMI 2.0 IN	HDMI 1入力 (ビデオおよびオーディオ)	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
6	USB3.0タイプ-B	HDMI 2入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
7	HDMI 2.0 IN	HDMI 2入力 (ビデオおよびオーディオ)	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
8	RJ45 (×2)	ネットワーク	26 ページ および <u>イーサネット (ネットワーク) ケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
9	S/PDIF出力	デジタルオーディオ出力	36 ページおよび <u>デジタルオーディオケーブルおよびコネクタ</u> を参照してください。
10	ステレオ3.5mm出力	外部オーディオシステム	36 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。
11	3.5 mmステレオ入力	VGA入力 (オーディオ)	31 ページ および <u>アナログオーディオケーブルとコネクタ</u> を参照してください。

No.	コネクタ	接続先	注
12	VGA IN	VGA入力 (ビデオ)	31 ページ および <u>VGAケーブルとコネクタを参照してください。</u>
13	USB3.0タイプ-B	VGA入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>

## コンビニエンスパネル

ディスプレイの操作パネルにある接続ポートは、下図と表のとおりです。



No.	コネクタ	接続先	注
1	USB3.0タイプ-A <sup>4</sup>	サポートされているUSBドライブと、周辺機器、そしてその他のデバイス	34 ページ <u>USBドライブ、周辺機器、その他のデバイスの接続 および USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
2	USB2.0タイプ-B	HDMI 3入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
3	USB3.0タイプ-B	HDMI 3入力 (タッチ)	31 ページ および <u>USBケーブルとコネクタを参照してください。</u>
4	HDMI 2.0 IN	HDMI 3入力 (ビデオ および オーディオ)	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</u>
5	USB Type-C <sup>5</sup>	USB-C	31 ページ および <u>HDMI ケーブルとコネクタを参照してください。</u>

<sup>4</sup>SMART Board 6000S (C) および 6000S (V3) モデルには、USB 3.0 Type-A コネクタが1つ搭載されています。その他のモデル ( ) には、USB 3.0 Type-Aコネクタを2つ搭載しています。

<sup>5</sup>SMART Board 6000S (C) および 6000S (V3) モデル

# 第 4 章 ディスプレイのメンテナンス

ディスプレイをオフ、オン、およびリセット .....	41
ハードウェアのクリーニングと管理 .....	42
ディスプレイの設置状態の確認 .....	42
画面のクリーニング .....	42
タッチセンサーのクリーニング .....	43
Tool Explorer 対応 ツールおよび具体物をクリーニングする .....	43
通気の確保 .....	44
結露の防止 .....	44
ペンとイレーザーの交換 .....	44
ディスプレイの取り外しおよび輸送 .....	44
システムソフトウェアの更新 .....	45
自動システムソフトウェアの更新の手動での適用 .....	46
システムソフトウェアの手動更新 .....	46

ディスプレイを適切に使用することで、長期間使用することができます。

## ディスプレイをオフ、オン、およびリセット

ほとんどの場合、SMART Board 6000S および 6000S Pro シリーズインタラクティブディスプレイユーザーガイド ([smarttech.com/kb/171415](http://smarttech.com/kb/171415)) の説明に従って、使用しないときにディスプレイを省エネモードにすることができます。

ディスプレイの移動中や画面をクリーニングする間は、ディスプレイをOFFにする必要があります。ディスプレイは後で点灯させることができます。

また、このディスプレイをリセットすることもできます。

### ディスプレイの電源をOFFにする

1. コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタンを  5秒間押す。  
画面上にスライダーが表示されます。
2. スライダーを右に動かします。

3. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。

#### 注記

30秒以上待ってから、ディスプレイの電源をONにします。

### ディスプレイの電源を入れる

1. AC電源差込口の横にあるスイッチを(I)の位置のONにフリックします。
2. コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押す。

### ディスプレイをリセットする

コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を10秒間押し続ける。

#### 注記

ディスプレイをリセットしても、ユーザー設定の変更および保存されたファイルの削除は行われません。

ディスプレイがリセットされます。

## ハードウェアのクリーニングと管理

### ディスプレイの設置状態の確認

ディスプレイの取り付けを頻繁に確認してしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- 時間の経過とともに発生するダメージや弱さの兆候について取り付け位置を確認します。
- 取り付けハードウェアで発生する可能性があるネジの緩み、ギャップ、歪みやその他の問題をチェックしてください。

問題を見つけた場合は、訓練を受けた設置者にお問い合わせください。

### 画面のクリーニング

防眩コーティングやその他の製造部品を損なうことが無く、画面をきれいにするこれらの手順に従います。

#### 注意事項

- 画面に油性マーカーまたはホワイトボードマーカーを使用しないでください。ホワイトボードマーカーを画面で使用する場合は、糸くずの無い、非研磨布でできるだけ早くインクを落とします。
- 高密度または粗度材を使って画面をこすらないでください。
- 画面に圧力を与えないでください。
- SMARTが承認していない洗浄液やガラスクリーナーで画面を清掃しないでください。認可されていないクレンザーは、画面の劣化や変色を引き起こす可能性があります。

## 画面をきれいに

1. ディスプレイの電源を切ってください(41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセット を参照)。
2. 画面を糸くずの無い、非研磨布でふき取ります。

### 注記

また、湿らせた布に食器用洗剤を一滴垂らして使用するか、ナレッジベース記事、[SMART Boardの表面とアクセサリのクリーニング方法](#) の指示に従うこともできます。

## タッチセンサーのクリーニング

このディスプレイは、画面とフレームの間のディスプレイの周囲に赤外線 (IR) 送信機とセンサーを使用しています。保護プラスチックに埃が溜まるとタッチ性能が損なわれる可能性があります。これらの部分の埃を点検し、毎週清掃してください。

### ⚠ 注意事項

- センサーや縁を清掃する場合に圧縮空気を使用しないでください。
- タッチセンサーの洗浄に水や洗浄剤を使用しないでください。
- プラスチックを損傷する可能性があるため、ディスプレイを清掃する際は過剰な圧力をかけないでください。

### 赤外線送信機とセンサーの清掃

1. 糸くずの出ない表面を傷つけない清潔な布で、ディスプレイの画面の周囲にあるフレームと画面の間のプラスチックを軽く拭いてください。
2. それでも汚れが残っている場合は、50%のイソプロピルアルコール(IPA)を使用して画面とフレームの間の保護プラスチックを清掃してください。

## Tool Explorer対応 ツールおよび具体物をクリーニングする

Tool Explorer対応のペン、オブジェクト、具体物をクリーニングするには、以下の手順に従います。

### ⚠ 注意事項

- ツールや具体物のラベルを剥がさないでください。
- ツールや具体物を洗浄液や水に浸さないでください。

### Tool Explorerに対応したツールや具体物をクリーニングするには

1. 糸くずの出ないきれいな布で、ツールや具体物の表面をやさしく拭いてください。
2. 汚れが残っている場合は、70～90%のイソプロピルアルコール(IPA)、または蒸留水と標準的な家庭用漂白剤(5%の次亜塩素酸ナトリウム)の溶液を10対1の割合で用いて、ツールや具体物の表面を清掃してください。IPA液は、スプレーボトルを使って、布につけすぎないように塗布してください。

### 注記

SMARTアクセサリのクリーニングの詳細については、SMARTナレッジベース記事、[SMART Board の表面とアクセサリのクリーニング方法](#) を参照してください。

## 通気の確保

ディスプレイには、適切な換気が必要です。換気口で積み重なるほこりが冷却を損ね、製品の故障につながる可能性があります。

- 乾いた布で毎月アクセス可能な通気孔をクリーニングします。
- 背面の換気口を定期的に清掃する狭いホースの先端が適合する電気掃除機を使用します。壁からディスプレイを取り外す必要がある場合があります。

このディスプレイの削除の詳細については、44 ページ [ディスプレイの取り外しおよび輸送](#) を参照してください。

### ⚠ 注意事項

過度に埃や湿気の多い場所、または煙が充満した場所ではディスプレイの設定や使用を避けてください。

## 結露の防止

ディスプレイが寒い環境から暖かい環境に移動した場合(例えば倉庫から設置場所)、ディスプレイを数時間おいて新しい場所の温度に適応させてください。適応のための時間を取らないと、フロントガラスとLCDの間で湿気が発生する可能性があります。

ディスプレイをオンにした後で結露が画面の下に発生する場合、アクティブなビデオソースを選択し、ディスプレイを48時間オンにしたままにします。結露が放散されない場合、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

レイヤー間の湿気が多く、水分が滴り落ちたり流れ出る場合には、すぐに電源を切り、ディスプレイがまだ保証期間内であればSMARTのサポート部門に連絡してください。

## ペンとイレーサーの交換

ディスプレイの反射防止コーティングを傷めないよう、ペン先やイレーサーのパッドが摩耗したペンは交換してください。交換用のペンおよびイレーサーは、SMARTの部品ストア ([smarttech.com/Support/PartsStore](http://smarttech.com/Support/PartsStore) を参照) から購入できます。

### 注記

ペンとイレーサーのパートナンバーはサービスパーツ図面をご覧ください。

## ディスプレイの取り外しおよび輸送

壁に設置したディスプレイを、現在の場所から取り外して別の場所に移動する必要がある場合があります。

ディスプレイの安全な取り外しと移動は、訓練を受けた2名以上の作業者が行ってください。

#### ⚠ 警告

- 一人でディスプレイを移動させようとししないでください。ディスプレイはかなりの重量物です。
- 背面のハンドルにロープやワイヤをつないでディスプレイを動かさないでください。ディスプレイが転倒し、怪我や製品の損傷につながる可能性があります。

#### ❗ 重要事項

サードパーティ製の取付金具に付属されているマニュアルに従ってください。

### ディスプレイの取り外し

1. あらゆる接続先のコンピューターの電源を切ります。
2. ディスプレイの電源を切ってください(41ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照)。
3. AC電源入力のスイッチをOFF (O) 位置に切り替えます。
4. 手が届くすべてのケーブルとコネクタを取り外します。
5. アクセサリスロットから全てのモジュールを取り外してください。
6. ディスプレイを持ち上げます。

#### ⚠ 警告

傾いていたり安定しない台車やスタンド、テーブルの上にディスプレイを置かないでください。ディスプレイが転倒して、負傷したり製品が大きく損傷したりするおそれがあります。

#### ⚠ 注意事項

ディスプレイの画面を長期間、上や下に向けた状態、または上下逆の状態で放置しないでください。画面に回復不能な損傷が生じるおそれがあります。

7. 取り付けブラケットを取り外します。

### ディスプレイを移動させる

19ページディスプレイの設置場所への移動を参照してください。

## システムソフトウェアの更新

システムのソフトウェアまたはファームウェアの更新が利用可能な場合、ディスプレイがバックグラウンドで更新をダウンロードした後、ディスプレイ動作は4時間無効になります。その場合、インストール実行前には2-分間のカウントダウンが表示されます。カウントダウンはいつでも中断することができます。ディスプレイには数分間、空白の画面が表示されます。アップデートが完了すると、iQのホーム画面、または入力ロビーが表示されます。

### 注記

ディスプレイ設置場所のネットワークを、ソフトウェアとファームウェアの自動更新を許可または禁止するように設定することができます (ネットワークへの接続参照)。

## 自動システムソフトウェアの更新の手動での適用

ディスプレイがシステムソフトウェアの更新プログラムをダウンロードし、更新プログラムをまだ適用していない場合は、設定メニューから更新プロセスを手動で開始することができます。

### 自動システムソフトウェアの更新を手動で適用する

1. ホーム画面で、**設定**  をタップします。
2. **ソフトウェアの更新** までスクロールしてください。
3. **更新プログラムを今すぐ確認**の下にある、**更新を今すぐ適用**をタップします。

ディスプレイが消灯したあと再び点灯します。この後、ディスプレイに更新が適用されます。

## システムソフトウェアの手動更新

[smarttech.com/downloads](http://smarttech.com/downloads)でシステムのソフトウェアの更新をダウンロードし、USBドライブを使用してディスプレイを更新します。

### 注記

システムソフトウェアアップデートのダウンロードとインストールの手順については、ソフトウェアダウンロードページを参照してください。

# 第 5 章 トラブルシューティング

ディスプレイの電源が入っていません	47
必要でない場合にディスプレイがONになる	48
画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります	48
音が出ない、または音声に問題がある	50
タッチが正常に動作していません	51
ペンと消しゴムが正常に動作していません	51
iQアプリが正常に動作していません	52
接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません	52
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない	53
その他のサポート、販売店へのお問い合わせ	53

このページでは、ディスプレイに関するさまざまな一般的な問題を解決する方法について説明します。もし特定の問題についてここで説明されていないか問題が解決されないならSMART knowledgeベースの更なるトラブルシューティング情報を参照してください。

[community.smarttech.com/s/topic/0TOU0000000kAJ0OAM/interactive-displays?tabset=823c7=2](https://community.smarttech.com/s/topic/0TOU0000000kAJ0OAM/interactive-displays?tabset=823c7=2)

## ディスプレイの電源が入っていません

兆候について	トラブルシューティングの手順
電源LEDが点灯していません。	<ul style="list-style-type: none"><li>電源ケーブルが、コンセントとディスプレイの両方にしっかりと固定されていることを確認します。</li></ul> <p><b>注記</b></p> <p>電源バーに電源ケーブルが接続されている場合、電源バーがコンセントにしっかりと固定されており、オンになっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>AC電源差込口の横にあるスイッチが(I)の位置でONになっていることを確認します。</li><li>別のデバイスでテストして、電源コンセントが動作することを確認します。</li><li>別のデバイスでテストして、電源ケーブルが動作することを確認します。</li></ul>
電源LEDは点灯していますが、画面に何も表示されていません。	<ul style="list-style-type: none"><li>コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタンを押してください。</li><li>動作センサーがブロックされていないことを確認する。</li><li>ディスプレイを再起動します。 41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li><li>問題がビデオにあるかどうかを確認してください。 48 ページ画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題がありますを参照してください。</li></ul>

## 必要でない場合にディスプレイがONになる

兆候について	トラブルシューティングの手順
必要でない場合ディスプレイはONまたは準備モードになります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイをチェックし、可能であれば次の物体から離します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光</li> <li>明るい光</li> <li>強制換気ダクト</li> <li>プラズマディスプレイ</li> <li>赤外線オーディオシステムおよびその他の赤外線を発する装置</li> <li>磨かれた床、ガラス壁、またはその他の反射面</li> </ul> </li> <li>接近センサーの範囲は5 mです。</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <p>ディスプレイは、レセプタクルがビデオ信号を受信したとき、システムのアップデートを確認または適用するとき、RS-232接続でコマンドを受信するときにオンになります。</p>

## 画面に何も表示されていないか、画面上の画像に問題があります

兆候について	トラブルシューティングの手順
画面が空白です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の下にあるホームボタン  をタップするか、リモコンのホームボタン  を押してホーム画面を開いて画面が機能していることを確認してください。</li> <li>電源ボタン  を押して、ディスプレイがスタンバイモードになっていないことを確認してください。</li> <li>接続されているすべてのコンピューターがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>ディスプレイと接続されている全てのコンピューターを再起動します。 41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>全てのコンピューターとディスプレイを接続しているビデオケーブルを交換し、問題がケーブルにあるかどうか判断してください。</li> </ul>
コンピューターはディスプレイに接続されているが、画面上に接続メッセージのみが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターが、現在選択されている入力に接続されていることを確認します。</li> <li>ディスプレイが接続されたコンピューターのリフレッシュレートに対応していることを確認してください。 32 ページ接続されたコンピューターの解像度とリフレッシュレートの設定を参照してください。</li> <li>現在選択されている入力コンピューターの場合は、コンピューターが省エネモードでないことを確認してください。</li> </ul>

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>画面上の画像が歪んでいる。 または 画面に線、ちらつき、その他視覚的ノイズがある。 または ちらつきや点滅がある場合、イメージ または 画像が暗くなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の下にある <b>ホーム</b> ボタン  をタップするか、リモコンの <b>ホーム</b> ボタン  を押してホーム画面を開いてください。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>別の入力に切り替えてから最初の入力に戻ってください。</li> <li>接続されているすべてのコンピュータがオンになっていて、省エネモードではないことを確認します。</li> <li>ディスプレイと接続されている全てのコンピュータを再起動します。 41 ページ <b>ディスプレイをオフ、オン、およびリセット</b> を参照してください。</li> <li>接続されている全てのコンピュータの解像度とリフレッシュレートを、ディスプレイが対応している値に設定してください。</li> <li>コンピュータとディスプレイのビデオケーブルを交換して問題がケーブルであるか確認する。</li> </ul>
<p>(SMART Board 6000S (V3) および 6000S (C) モデルの場合) USB Type-C レセプタクルをコンピュータ で使用すると画像が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータが USB Type-C 経由でディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていることを確認します。コンピュータの USB Type-C レセプタクルの横にある Display Port のロゴを探します。存在しない場合、コンピュータは USB Type-C 経由のディスプレイポート代替モードビデオをサポートしていない可能性があります。</li> <li>USB Type-C レセプタクルで使用されているケーブルが Super Speed (5 Gbps) USB をサポートしていることを確認します。ケーブルに Super Speed USB のロゴが表示されているか探します。ケーブルに Super Speed USB のロゴがない場合は、ディスプレイポート代替モードビデオデータを運ぶのに必要な内部配線がない可能性があります。</li> </ul>
<p>画面上に明るい点があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の下にある <b>ホーム</b> ボタン  をタップするか、リモコンの <b>ホーム</b> ボタン  を押してホーム画面を開いてください。これが正常に表示される場合、ビデオ入力に問題があります。</li> <li>画面の写真を撮り、SMART サポートにお送りください。SMART サポートにより、画面に問題があり、ディスプレイが保証の対象であると判断される場合、代替のディスプレイを提供されます。</li> </ul>
<p>色が正しく表示されません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 つ以上のディスプレイを横に並べて取り付ける場合には、ディスプレイの色が少々異なる場合があることに注意してください。これは、SMART 製品に特有の問題ではありません。</li> <li>画面上で1つの色が完全に欠けている場合や、ホーム画面で色の問題が発生した場合は、53 ページ <b>その他のサポート</b>、販売店へのお問い合わせを参照してください。</li> <li>VGA ビデオ入力を使用している場合は、別のケーブルを使ったり、異なるソースを接続して、ケーブルや入力ソースに問題があるかどうかを確認してください。</li> <li>ディスプレイの色設定を調整したり、工場出荷時の設定に戻すことができます。 54 ページ <b>設定の調整</b> を参照してください。</li> </ul>
<p>画像が切れるかまたは左右にずれています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているコンピュータのビデオ設定、特にズーム、クロップ、アンダースキャンを調整してください。 コンピュータのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</li> <li>VGA ビデオ入力を使用していて、接続されているコンピュータのデスクトップがすべて黒い場合、ダークグレーまたは別の色に変更してください。</li> <li>接続されているコンピュータのデスクトップが複数の画面にまたがって拡張されている場合は、デスクトップを複数の画面に複製するか、ディスプレイを唯一の画面に設定してください。</li> </ul>
<p>画像が画面全体に広がっていません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続しているコンピュータのビデオ設定、特にオーバースキャンを調整します。 コンピュータのオペレーティングシステムのマニュアルをご参照ください。</li> <li>接続されているコンピュータのビデオコネクタが、サポートされているビデオ信号を出力するように構成されていることを確認してください。<u>ノートパソコンからビデオ表示が出力されない</u> を参照してください。</li> </ul>
<p>ディスプレイにイメージが表示され続けます。</p>	<p><u>イメージ永続性またはLCDディスプレイ上の焼き付け</u>をご参照ください。</p>

## 音が出ない、または音声に問題がある

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>音声が聞こえません。 または 音声が聞こえますが、音量が小さいです。 または 音がひずむかくもった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部オーディオシステムを使用している場合、その電源が入っていることを確認してください。</li> <li>コンピューターにディスプレイ接続するケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイのコネクタのステレオ3.5mmが対応しているのはVGA入力のみです。</li> <li>本製品の3.5mmステレオ出力ポートにオーディオケーブルを接続すると、内蔵スピーカーが無効になります。</li> <li>ディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用して外部スピーカー用のサウンドバーまたはレシーバーを接続する場合は、36 ページ外部オーディオシステムの接続を参照してください。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>このディスプレイの3.5mm出力コネクタを使用している場合は、本製品と接続したコンピューターで音量を調整し、いずれもミュートされていない事を確認してください。</li> <li>このディスプレイのS/PDIF出力コネクタを使用している場合は、外部オーディオシステムで音量を調整し、そのオーディオシステムがミュートされていない事を確認してください。</li> <li>ディスプレイのオーディオ設定を調整します。 62 ページオーディオを参照してください。</li> <li>内蔵スピーカーを使用している場合、コンピューターと実行中のアプリケーションの音量を80%に設定した後、ディスプレイの音量を調整します。 または 外部オーディオシステムを使用している場合、コンピューターと、実行中のアプリケーション、およびディスプレイの音量を80%に設定した後、外部オーディオシステムの音量を調整してください。</li> </ul>
<p>ディスプレイ背面から、ウィーンまたはジジジという音が聞こえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これは正常な音です。すべてのディスプレイ製品が電氣的ノイズを発生しています。このノイズの大きさは、ディスプレイごとに異なります。ただし、ディスプレイ前面から音が聞こえる場合は、詳細な点検が必要になります。</li> <li>すべてのデバイスを同じ電源コンセントまたは電源タップに接続してください。</li> </ul>
<p>SMART Board (V3)モデル用 マイクアレイが音を拾わず、緑のインジケータランプが点灯していない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニューでマイクアレイが有効になっていることを確認します。</li> <li>外部のコンピュータを使用する場合は、コンピュータのオーディオ設定が SMART IFP Mic を入力ソースとして使用するように設定されていることを確認してください。</li> </ul>

## タッチが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイにタッチしても反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続されたコンピューターにSMART Product Driversがインストールされ、起動していることを確認してください。(SMART Board 6000S (V3) モデルのディスプレイには <a href="#">SMART Product Drivers 12.18</a> 以降、SMART Board 6000S (C)および6000S モデルのディスプレイには <a href="#">SMART Product Drivers 12.14</a> 以降が必要です)。</li> <li>ディスプレイとコンピューター間のUSBケーブルがサポートされている最大ケーブル長を超えていないことを確認してください。33 ページ <a href="#">推奨ケーブルの使用</a>を参照してください。</li> <li>接続されているコンピューターが、ディスプレイのUSB接続を検出していることを確認してください。</li> <li>Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符 (!)が表示されていないことを確認してください。</li> <li>Macのコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。</li> <li>macOS Mojaveを搭載したMacコンピューターについては、<a href="#">macOS Mojaveに SMART Learning Suitのソフトウェアをインストールして使用する際の問題解決方法</a>を参照してください。</li> </ul>
このディスプレイは断続的なタッチに反応します。 または 画面をタッチするとポインターが正しい場所に表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイを再起動します。 41 ページ <a href="#">ディスプレイをオフ、オン、およびリセット</a>を参照してください。</li> <li>SMART Product DriversとSMART Inkがインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。</li> <li>コンピューターが本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。</li> <li>白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。</li> <li>USB ケーブルを分離するためにUSBエクステンダーを取り外してください。</li> <li><a href="#">ファームウェアを更新</a>してください。</li> </ul>

## ペンと消しゴムが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
ディスプレイはタッチまたはペンのライティングには反応しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続されたコンピューターにSMART Product Driversがインストールされ、起動していることを確認してください。(SMART Board 6000S (V3) モデルのディスプレイには <a href="#">SMART Product Drivers 12.18</a> 以降、SMART Board 6000S (C)および6000S モデルのディスプレイには <a href="#">SMART Product Drivers 12.14</a> 以降が必要です)。</li> <li>接続されているコンピューターが、ディスプレイのUSB接続を検出していることを確認してください。</li> <li>Windowsコンピューターでは、デバイスマネージャーを開き、ディスプレイのアイコン上に赤または黄色の感嘆符 (!)が表示されていないことを確認してください。</li> <li>Macのコンピューターでは、システム情報を開き、ディスプレイの行にエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。</li> <li>接続された全てのコンピューターでSMART Product DriversおよびSMART Inkを再インストールまたは更新してください。</li> </ul>
ディスプレイはタッチに反応するが、ペンで書いても反応がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続された全てのコンピューターでSMART Product DriversおよびSMART Inkを再インストールまたは更新してください。</li> </ul> <p><b>注記</b></p> <p>Tool Explorerのペンやツールは、iQシステムホワイトボードでのみ動作し、外部コンピューターからの入力では動作しないものがあります。</p>

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>画面上に書き込む際にインクが間違った場所に表示されます。</p> <p>または</p> <p>書き込みが断続的に行われます。</p> <p>または</p> <p>インクが書くと消えます。</p> <p>または</p> <p>インクの色が予期せずに変化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイを再起動します。 41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>コンピューターが本のケーブルのみでディスプレイに接続されていることを設置者と一緒に確認します。</li> <li>SMART Product DriversとSMART Inkがインストールされ、接続されたコンピューターで実行されていることを確認します。</li> <li>別のディスプレイから動作中のペンをを使用して、問題がペンによって起こっているかどうかをチェックします。</li> <li>白熱灯やアーク灯等の赤外線発信源、デスクランプ、赤外線オーディオデバイスを取り除くか、ディスプレイを部屋の別な場所に移動させてください。</li> <li><a href="#">ファームウェアを更新してください。</a></li> </ul>
<p>ペンのデジタルインクの幅または色を変更できますが、次にディスプレイ上のペンホルダーからペンを取り上げた際に幅と色がペンの既定値に戻ります。</p>	<p>ペンをホルダーに戻すと、ペンの色と太さがペンの既定値に戻ることにご注意ください。</p>
<p>Microsoft®Officeでは、書き込みや描画を行うことはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Microsoft Office 2013以降がインストールされていることを確認してください。</li> <li><a href="#">SMART Product DriversおよびSMART Inkを、再インストールまたは更新してください。</a></li> </ul>

## iQアプリが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>iQアプリが正常に動作していません。</p>	<p><a href="#">iQ エクスペリエンスのトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>

## 接続されたコンピュータのSMARTソフトウェアが正常に動作していません

兆候について	トラブルシューティングの手順
<p>SMART Notebookのソフトウェアが正常に動作していません。</p>	<p><a href="#">SMART Notebookのトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
<p>Lumio by SMARTが正常に動作していない。</p>	<p><a href="#">Lumio by SMARTの一般的な問題のトラブルシューティング</a>をご覧ください。</p>
<p>SMART Inkが正常に動作していません。</p>	<p><a href="#">SMART Inkのトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
<p>SMART Product Driversが正常に機能していません。</p>	<p><a href="#">SMART 製品ドライバのトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>

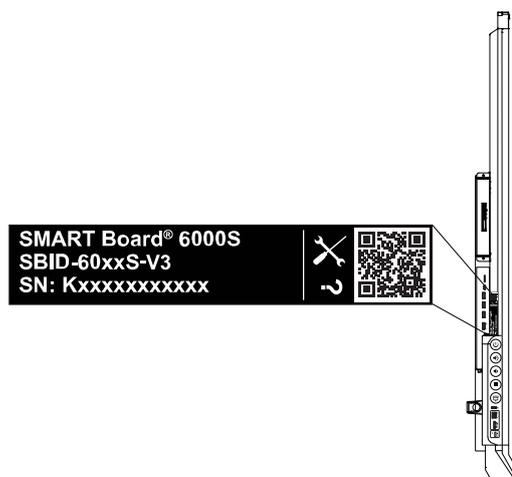
## SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しない

兆候について	トラブルシューティングの手順
SMART OPS PCモジュールが思い通りに作動しません。	SMART OPS PCモジュールのユーザーガイド ( <a href="http://smarttech.com/kb/171747">smarttech.com/kb/171747</a> ) を参照してください。

## その他のサポート、販売店へのお問い合わせ

ディスプレイの問題を解決できないか、本章やナリッジベースにも解決策が掲載されていない場合は、SMART正規販売代理店 ([smarttech.com/where](http://smarttech.com/where)) でサポートを受けてください。

販売店がディスプレイのシリアル番号をお伺いする場合がございます。このシリアル番号はディスプレイの左側にあるラベルに記載されています(写真)。



### ヒント

- ラベルのQRコードをスキャンして、ウェブサイト上のSMART Board 6000Sまたは6000S Proシリーズインタラクティブディスプレイサポートページを閲覧する。
- このラベルには、ディスプレイのベースモデル番号(例: SBID-6065-V3)が記載されています。この番号は、実際のモデル/SKU番号(例: SBID-6265-V3)とは異なるのでご注意ください。
- シリアル番号はiQ設定で確認することもできます(66 ページシリアル番号を参照)。

# 付録 A 設定の調整

ネットワークの設定	54
カスタマイズ	55
アプリケーションの設定	56
システム設定	59
SMARTミラー	67

ホーム画面にある  アイコンから設定画面にアクセスできます。

## 注記

- 設定は、ユーザーまたはシステム全体に適用可能です。ユーザーレベルの設定は、サインインしているユーザーによって変わります。システムレベルの設定はすべてのユーザーに適用されます。詳細については設定を参照してください。
- あなたがSMARTアカウントにサインインしている間は、一部の設定を使用できません。全ての設定を見るために、ディスプレイのSMARTアカウントからサインアウトしてください。

## ネットワークの設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ Wi-Fi</b>				
• Wi-Fi	オン オフ	Wi-Fiをディスプレイで有効または無効にする。	Wi-FiをONにしてネットワークを検索します。	システム
• [Wi-Fiネットワーク名]	[N/A]	接続されたワイヤレスネットワークについての情報を表示します。	[N/A]	システム
• Wi-FiのMAC アドレス	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークのMAC アドレスを表示します。	[N/A]	システム
• Wi-FiのIP アドレス	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークのIP アドレスを表示します。	[N/A]	システム
<b>▶ SMART iQのイーサネット</b>				
• 高度なオプション	[N/A]	イーサネットケーブル接続時オプション利用可能	該当なし	システム
• スタティックIP (DHCPを使用)	オン オフ	DHCPを有効または無効にして、ディスプレイにIPアドレスを割り当てます。	[N/A]	ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(プロキシを使用)</li> </ul>	オン オフ	ネットワークに接続するためにプロキシサーバーを有効または無効にする。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>プロキシ(自動構成)</li> </ul>	オン オフ	ネットワークに接続するためプロキシサーバーの自動設定を有効または無効にする。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>MACアドレス</li> </ul>	該当なし	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>IP アドレス</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの接続先のネットワークの情報を表示します。	[N/A]	システム
<b>▶ Bluetooth</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluetooth</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイのBluetoothを有効または無効にします。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なBluetoothデバイスを表示</li> </ul>	該当なし	使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	Bluetoothをオンにして使用可能なBluetoothデバイスを表示します。	システム
<b>▶ SMART Cloud</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス地域</li> </ul>	[N/A]	サービス地域を表示します。	[N/A]	システム

## カスタマイズ

### 注記

iQが無効になっている場合、パーソナライゼーション設定は利用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>壁紙</li> </ul>	[壁紙]	背景に表示する壁紙を選択します。	1920 × 1080 サイズの画像が最適です 本ディスプレイは.pngおよび.jpgのファイル形式をサポートしています。 <u>ディスプレイの壁紙の変更を参照してください。</u>	ユーザー

# アプリケーションの設定

## 注記

iQが無効になっている場合、アプリケーション設定は利用できません。

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ ランチャー</b>				
• ブラウザー	オン オフ	ライブラリアプリでブラウザを有効もしくは無効にします。	[N/A]	ユーザー
• 画面の共有	オン オフ	ライブラリアプリでスクリーンシェアを有効もしくは無効にします。	[N/A]	ユーザー
<b>▶ ファイルライブラリ</b>				
• ホワイトボードストレージ	[N/A]	[N/A]	[N/A]	ユーザー
• デフォルトのホワイトボードの場所	マイファイル> Lumio マイファイル> ボードファイル	SMART アカウントにサインインしているときに、新しいホワイトボードファイルが保存される場所を設定します。	<a href="#">SMART NotebookおよびLumioのファイルをiQエクスペリエンスに同期する</a> をご覧ください。	ユーザー
• ファイルストレージ	該当なし	[N/A]	SMART Board 6000S (V3)では、これらのオプションは使用できません。	ユーザー
• ファイルライブラリでGoogleドライブの統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにログインしているときGoogleドライブへのアクセスを有効または無効にします。	<a href="#">GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開く</a> を参照してください。	ユーザー
• ファイルライブラリでOneDriveの統合を許可する	オン オフ	SMART アカウントにサインインしているときにOneDriveへのアクセスを有効または無効にします。	<a href="#">GoogleドライブまたはOneDriveをディスプレイで開く</a> を参照してください。	ユーザー
<b>▶ SMART のホワイトボード</b>				
<b>• ホワイトボードストレージ</b>				
• 保存を許可	オン オフ	kappホワイトボードセッションの保存を有効もしくは無効にします。	[N/A]	システム
• ホワイトボード削除ポリシー	1週間後に削除 1か月後に削除 手動で削除	SMART ホワイトボードの保存方法を設定する。	[N/A]	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ SMART Kappモバイルアプリ</b>				
SMART Board 6000S (V3)またはMX-V3モデルでは、これらのオプションは使用できません。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードを保存</li> </ul>	オン オフ	SMART kappアプリのキャプチャー機能を有効または無効にします。	このオプションがOFFになっているとQRコードは表示されません。The SMART kappアプリはディスプレイとモバイルデバイスに接続できず、ディスプレイのアプリのスナップショットを保存出来ません。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードの共有</li> </ul>	オン オフ	SMART kappアプリの招待機能を有効または無効にします。	このオプションがオフの場合、他の人をセッションに招待は出来ません。	ユーザー
<b>• 書き込み</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>注釈レイヤを有効にする</li> </ul>	オン オフ	ホーム画面、ビデオ入力、およびほとんどのアプリで書き込みを有効または無効にします。	[N/A]	ユーザー
<b>• その他</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>フィンガーインクの有効化</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、指で書くことができるようになります。デフォルトはオフです。	[N/A]	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードの共有を有効にする</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、ホワイトボードを生徒のデバイスと共有することができます。	[N/A]	ユーザー
<b>▶ 画面の共有</b>				
SMART Board 6000S (V3)またはMX-V3モデルでは、これらのオプションは使用できません。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>許可が必要</li> </ul>	オン オフ	画面を共有するデバイスからの自動接続を有効または無効にします。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>AirPlay</li> </ul>	オン オフ	AirPlayのプロトコルを有効または無効にします。	AirPlayはデフォルトで有効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Cast</li> </ul>	オン オフ	Google Castのプロトコルを有効または無効にします。	Google Castはデフォルトで有効になっています。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>Miracast</li> </ul>	オン オフ	Miracastのプロトコルを有効または無効にします。	<p>Miracastはデフォルトで有効になっています。</p> <p><b>④ 重要事項</b></p> <p>Miracastデバイスを接続している間は、AirPlayとGoogleキャストを使用している端末はディスプレイに接続できません。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンスのログ</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートでは、問題の診断に役立つパフォーマンス・ログを有効にするようユーザーに求める場合があります。	パフォーマンスログはデフォルトでは無効になっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>MiracastのWiFiから自動切断する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、デバイスがMiracastを使用して画面を共有している場合、ディスプレイがネットワークから切断されます。	<p>SMARTは、ネットワークの飽和度が高いエリアや、ネットワークが混雑しているエリアに対しては、この設定を有効にすることを推奨しています。</p> <p><b>④ 重要事項</b></p> <p>Miracastが有効な場合、ディスプレイに接続可能なデバイスは一つだけです。</p> <p>この設定はかつて、「Miracastの接続の取り扱い」と呼ばれていました。</p>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面の共有をリセットします</li> </ul>	[N/A]	スクリーンシェアアプリとディスカバリーサービスを閉じて再起動します。	モバイルデバイスまたはコンピューターが検出できないか、ディスプレイに接続できない場合は、Screen Share機能を再起動してトラブルシューティング手順を実行します。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Webプレーヤーを使用する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、ディスプレイは別の方法でビデオをストリーミングします。	このメソッドが機能しない場合、無効にして元のメソッドに戻してください。	システム
<b>▶ 通知</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>おやすみモード</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、どのアプリの通知も表示されなくなります。	[N/A]	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>[アプリ]</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、アプリの通知がディスプレイに表示されます。	該当なし	ユーザー
▶ インストールされているアプリ				
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリストアを許可する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、App Storeが利用可能になり、ディスプレイは新しいアプリをダウンロードしてインストールできるようになります。	[N/A]	ユーザー

## システム設定

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
▶ システム				
<ul style="list-style-type: none"> <li>USB大容量記憶装置へのアクセスする</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのアクセスを有効または無効にします。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>高度なオプション</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>SMART BoardとiQ</li> </ul>	オン オフ	iQエクスペリエンスを有効または無効にする。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルト入力</li> </ul>	ディスプレイ上で利用可能な入力。	ディスプレイの起動時に使用するデフォルト入力を選択。	iQ埋め込みエクスペリエンスがデフォルト入力	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームボタンの明るさ</li> </ul>	高 中 低	ホームボタンLEDの明るさを設定します。	デフォルトは [低] です。 SMART Board 6000S (V3) モデルでは、このオプションを使用することはできません。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームボタンのアクティブ化間隔</li> </ul>	80ミリ秒 180ミリ秒 280ミリ秒 560ミリ秒 1120ミリ秒 2080ミリ秒	[ホーム] ボタンの感度を設定します。	デフォルトは80ミリ秒です。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームボタンモード</li> </ul>	物理的なボタンを使用してホームに戻る(デフォルト)	[ホーム] ボタンの動作を設定する。	デフォルトは [低] です。 SMART Board 6000S (V3) モデルでは、このオプションを使用することはできません。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 電源</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>人が近くにいるときにオンにする</li> </ul>	オン オフ	存在検出センサーが部屋にいるユーザーを検出した場合にディスプレイの電源をONに設定。	このオプションはデフォルトではオフになっています。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に画面をオフにする</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードになるまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。	システム
<b>• 省エネ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>後に省エネモードに移行する</li> </ul>	無効 1分 5分 30分 1時間 1.5時間 2時間 5時間 10時間	ディスプレイが省エネモードに入るまでの非アクティブ時間を分単位で設定します。	デフォルトは60分です。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンバイ(シャットダウン)</li> </ul>	[N/A]	選択すると、ディスプレイはすべての実行中のコンポーネントをオフにして、最大のエネルギー節約を達成しますが、スリープ解除が遅くなります。	このオプションは省エネ率が高いです。 このオプションは、EUのディスプレイのデフォルトです。 ディスプレイの省エネモードの詳細については、28ページ省エネモードについてを参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークスタンバイ(スリープ)</li> </ul>	該当なし	選択すると、ディスプレイが速く起動し、ネットワークからのWake on LANコマンドで起動できます。	このオプションは省エネ率が低いです。 このオプションは、EU以外のディスプレイのデフォルトです。 ディスプレイの省エネモードの詳細については、28ページ省エネモードについてを参照してください。	システム
<b>• 外部入力</b>				

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部ビデオソースを表示する場合にも電源設定を適用する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、外部ビデオ入力が続けられている場合でも、ディスプレイは省エネモードになります。	[N/A]	システム
<b>▶ ディスプレイ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>画面調整</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>輝度</li> </ul>	0-100	画像の全体的な明るさを設定。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>高度なディスプレイオプション</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>色温度</li> </ul>	非常に冷たい 寒色 ニュートラル 暖色 非常に温かい	ディスプレイ上での色の表示方法を設定します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>明るさ</li> </ul>	0-488	画像の全体的な明るさを設定。	[N/A] SMART Board 6000S (V3) モデルでは、このオプションを使用することはできません。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>コントラスト</li> </ul>	0-488	画像の全体的なコントラストを設定。	該当なし SMART Board 6000S (V3) モデルでは、このオプションを使用することはできません。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>彩度</li> </ul>	0-511	画像の全体的な彩度を設定。	[N/A] SMART Board 6000S (V3) モデルでは、このオプションを使用することはできません。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>赤</li> </ul>	0-448	画像の全体的な赤色を設定。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Green</li> </ul>	0-448	画像の全体的な緑色を設定します。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>青</li> </ul>	0-448	画像の全体的な青色を設定。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI出力</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトの解像度</li> </ul>	自動 4K60 1080p60 720p60 640x480p60	HDMI出力解像度の設定。	該当なし 6000S (V3) およびモデルで出力解像度を変更した場合、HDMI出力が数秒間表示されない場合があります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMI入力</li> </ul>				

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>HDMIの詳細設定</li> </ul>	HDMI 1.0 HDMI 2.0 HDMI 3.0 OPS VGA	各HDMI入力のHDMIバージョン、HDPパルス幅、MHLセットアップディスプレイを設定する。	また、厳密に準拠したHDMI入力DDC SDAタイミングを有効または無効にし、古いレシーバでHDCP 2.2を禁止または許可することもできます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>信号がないときに入力ロビーに移動する</li> </ul>	オン オフ	有効にすると、信号がないときに入力プレビューを表示します。	該当なし	システム
<b>▶ オーディオ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ入力</li> </ul> これらのオプションは、SMART Board 6000S (V3) モデルでのみ使用できます。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	マイクの音量の設定	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵マイク</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ノイズ抑圧</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの内蔵マイクのノイズ抑制フィルタの有効 / 無効を設定する。デフォルトではオンです。	ディスプレイの内蔵マイクを使用する際に、背景のノイズを低減するためのノイズ抑制フィルタを有効にします。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオ出力</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからの音量を設定する	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>内蔵スピーカー</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイ内蔵スピーカーを有効または無効にする。	アナログスピーカーがディスプレイに接続されると、ディスプレイの内蔵スピーカーは自動的に無効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオのプロパティ</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>バランス</li> </ul>	レンジスライダー	スピーカーからのオーディオ出力を設定します。	オーディオ出力を左側のみにした場合は、スライダーを一番左までドラッグします。オーディオ出力を右側のみにした場合は、スライダーを一番右までドラッグします。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>バス</li> </ul>	レンジスライダー	低音を設定します。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>トレブル</li> </ul>	レンジスライダー	高音を設定します。	[N/A]	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ 日付と時刻</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動日付と時刻</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイの日付および時間を自動で設定します。	ネットワークタイムプロトコル (NTP) からインターネット時刻サーバーへの要求を許可するよう、ネットワークを設定します。 <u>ネットワークへの接続を参照してください。</u>	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>日付</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの日付を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で日付を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>時間</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの時間を設定します。	<b>自動日付 &amp; 時刻</b> を無効にすると、手動で時刻を設定できます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間形式の時刻</li> </ul>	オン オフ	24時間制を使用してディスプレイの時間を表示します。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>タイムゾーン</li> </ul>	該当なし	ディスプレイのタイムゾーンを設定します。	該当なし	システム
<b>▶ 言語</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム言語</li> </ul>	[言語]	設定メニューで言語を設定する。	該当なし	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>インクからテキストへの言語</li> </ul>	[言語]	文章をテキストに変換する際の言語を設定する。	言語のインストールおよびアンインストールすることができます。 <u>テキストペンでインクからテキストへの言語を設定する</u> を参照してください。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>国</li> </ul>	国	ディスプレイの国を設定する。	[N/A]	システム
<b>▶ 診断</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>工場出荷時リセット</li> </ul>	該当なし	すべてのオプションをデフォルト値にリセットします。	ディスプレイのリセットは管理者以外には行わないでください。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログファイルをUSBキーに保存する</li> </ul>	該当なし	USBドライブを使用するため診断ログをコピーする。	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログファイルをSMARTIに送信する</li> </ul>	[N/A]	SMARTIに診断ログを送信します。	[N/A]	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>操作性を向上します</li> </ul>	オン オフ	使用状況統計、エラーレポートをSMARTIに送信する。	該当なし	ユーザー

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートID</li> </ul>	[サポートID]	ディスプレイ用のサポートIDを表示する。	SMARTサポートのアドバイスにより、ボードのサポートIDとの組み合わせでのみ、このオプションを有効にします。	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログサービス</li> </ul>	[言語]	設定メニューで言語を設定する。	[N/A]	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログサービスを有効化する</li> </ul>	オン オフ	USBドライブへのログの保存を有効または無効にする	このオプションにより、一時的なiQシステムログファイルは、デバイスのストレージスペースを犠牲にして、システムの再起動後も存続することができます。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベル</li> </ul>	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRAW</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSPM</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルRATP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルSEP</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ログレベルEXT</li> </ul>	オン オフ	SMARTサポートの指示の下に設定する高度なログオプション	[N/A]	システム
<b>▶ セキュリティ</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>設定をロック</li> </ul>	該当なし	USBドライブにあるセキュリティ証明書を使用して、ディスプレイの設定をロックします。	詳細は、 <a href="#">設定アプリのロック</a> を参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードを表示させる</li> </ul>	オン オフ	アプリまたはWebサイトでパスワードを入力するときに文字が表示される	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書をインストールします</li> </ul>	該当なし	ネットワークに接続するためのセキュリティ証明書をインストールする。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>証明書の表示</li> </ul>	該当なし	インストールされている証明書を表示する。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ルートCA証明書の表示</li> </ul>	該当なし	[N/A]	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動非アクティブログアウト</li> </ul>	無効 1時間 8時間 12時間	非アクティブの時間が経過すると、自動的にユーザーをログアウトします。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動ログインを有効にする</li> </ul>	オン オフ	有効な場合、ユーザーを自動的にログインさせる	デフォルトはオフです。	システム

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>整理します</li> </ul>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリシーを整理します。</li> </ul>	無効 <b>クリーンアップ</b> ボタンで手動でリセットします。 1時間 2時間 3時間 1日	ディスプレイのクリーンアップの頻度を設定します。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラウザーを整理します</li> </ul>	該当なし	ブラウザのタブを閉じ、履歴とキャッシュ、クッキーを消去する。	該当なし	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリのデータと環境設定のクリーンアップ</li> </ul>	該当なし	開いているアプリをすべて閉じ、アプリのデータと環境設定をクリアにする。	該当なし	システム
<b>▶ ソフトウェアの更新</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>更新プログラムチャンネル</li> </ul>	安定チャンネル ベータチャンネル	どのiQシステムソフトウェアがディスプレイの受信を更新するかを設定する。	BetaからStableチャンネルに切り替えると、工場出荷時初期設定にリセットされます。工場出荷時初期設定へのリセットの詳細に関しては、63ページを参照してください。 Betaチャンネルについては、 <a href="#">Betaチャンネルへの切り替え</a> を参照してください。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>今すぐ更新を確認(C)</li> </ul>	[N/A]	システムのソフトウェアの更新を確認します。	更新が利用可能な場合、テキストは「更新を今すぐ適用」に変わります。 システムソフトウェアのアップデートを確認するには、ディスプレイをインターネットに接続するか、システムソフトウェアアップデートファイルを含むUSBドライブがディスプレイに接続されている必要があります。	[N/A]

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<b>▶ リモート管理</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理の設置を起動</li> </ul>	[N/A]	Radix Visoサーバーでディスプレイ接続設定を行う。	このオプションは、リモート管理が有効になっている場合にのみ有効になります。	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート管理が有効になっています</li> </ul>	オン オフ	ディスプレイのリモートマネジメントを有効または無効にする。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>Radix Visoバージョン</li> </ul>	[N/A]	Radix Visoバージョンを表示します	[N/A]	システム
<b>▶ バージョン情報</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボード名</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの名前を選択します。	[N/A]	システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルプ</li> </ul>	[N/A]	iQのSMARTサポートサイトを表示します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックを送信します</li> </ul>	[N/A]	SMARTに機能要求を送信します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボードの詳細</li> </ul>	[N/A]	[N/A]	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビルド番号</li> </ul>	[N/A]	iQシステムソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>シリアル番号</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのシリアルナンバーを表示します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>部品番号</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの部品番号を表示します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル番号</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイの基本モデル番号を表示します。 62xxSまたは64xxSのSKUとして購入されたディスプレイは、60xxSの基本モデル番号を持っています。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>構成</li> </ul>	EDU-iQ(教育iQエクスペリエンス) ENT-iQ(エンタープライズiQエクスペリエンス) ENT-NoiQ(エンタープライズ、iQを使用しないディスプレイのみの構成)	ディスプレイのiQシステム構成を表示します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ファームウェアの詳細</li> </ul>	[N/A]	[N/A]	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチコントローラーのファームウェアバージョン</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのタッチコントローラーのファームウェアバージョンを表示します。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>スカラーバージョン</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのスカラーバージョンを表示します。 SMART Board 6000S (V3)、6000S (C)、6000Sモデルでは、このオプションは使用できません。	[N/A]	[N/A]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペンのファームウェアのバージョン</li> </ul>	[N/A]	ディスプレイのペン検出システムのファームウェアバージョンを表示します。	[N/A]	[N/A]

オプション	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• 法令情報	[N/A]	[N/A]	[N/A]	[N/A]
• 使用許諾契約書	[N/A]	SMART使用許諾契約書を表示します。	[N/A]	[N/A]
• オープンソースライセンス	[N/A]	オープンsourceライセンスを表示します。	[N/A]	[N/A]
• SMARTの知的財産	[N/A]	SMART知的所有権情報を表示します。	[N/A]	[N/A]

## SMARTミラー

### 注記

6000S (V3)のディスプレイでのみ利用可能です。

SMART Mirrorのホーム画面から、設定  を選択します。

一般事項	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• ルーム名	[N/A]	このデバイスにネットワーク用の名前を割り当てます。	特有名前 (ルーム名など) を使用することをお勧めします。	システム
言語選択	[N/A]			

モデレーター	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• モデレーターモード	オン オフ	参加者を招待できる人を管理します。	モデレーターモードがオンの場合、参加者の画面提示を促す必要があります。 オンにすると、新しいセッションが作成されます。	システム

ネットワーク&接続	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
• 接続				
• Airplayレシーバー	オン オフ	AirPlayのプロトコルを有効または無効にします。		システム

セキュリティ	値	機能	注	ユーザーまたはシステムの設定
<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカル接続のみ</li> </ul>	オン オフ		ローカル接続をオンに設定すると、参加者は同じネットワーク内にいるときのみセッションに接続できるようになります。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>接続にPINを要求</li> </ul>	オン オフ	オンにすると、参加者は接続時に4桁のPINの入力を要求されます。	デフォルトはオフです。	ユーザー
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロック設定</li> </ul>	有効 無効にする		デフォルトでは「無効」になっています。 設定をロックして、不要な変更を防止することができます。 有効にすると、このデバイスの設定にアクセスするために、4桁のロックコードを入力し確認するよう要求されます。	ユーザー

# 付録 B SMART Remote Management にディスプレイを登録する

SMART Board 6000S または 6000S Proには、組織のSMART Remote Managementアカウントにディスプレイを登録できる機能が組み込まれています。これらのディスプレイのいずれかを登録すると、SMART Remote Managementを使用して、次のようなディスプレイの機能や設定を集中管理できます。

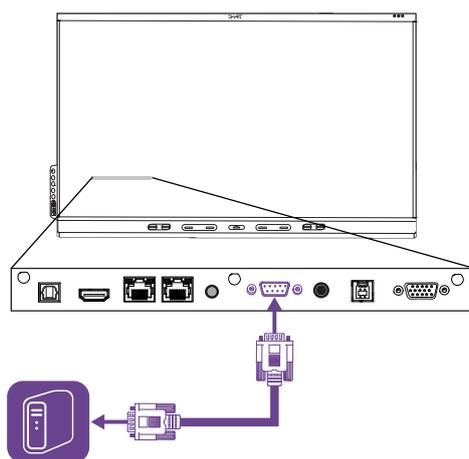
- ブロックリストおよび許可リスト
- Wi-Fi
- 壁紙
- 証明書
- ロックスクリーン
- 利用可能なアプリ

ディスプレイの登録方法については、[SMART Remote ManagementでのSMART Boardインタラクティブディスプレイの登録を参照してください。](#)

# 付録 C SMART Board 6000S (V3) のディスプレイをRS-232で管理する

コンピューターのシリアルインターフェースの設定 .....	71
コマンドと応答 .....	71
電源状態コマンド .....	73
入力コマンド .....	75
明るさコマンド .....	75
フリーズコマンド .....	75
スクリーンシェードのコマンド .....	75
ボリュームコマンド .....	76
ミュートコマンド .....	76
ファームウェアバージョンのコマンド .....	76
シリアル番号のコマンド .....	76
パーツ番号のコマンド .....	77
モデル番号コマンド .....	77
RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決 .....	77

RS-232ケーブルをコンピューターのシリアル出力からこのディスプレイのRS-232コネクタに接続して、ビデオ入力やディスプレイのオン / オフを離れた場所から操作したり、音量や電源状態などのディスプレイの現在の設定内容を取得することができます。



## ❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

## ヒント

また、SMARTは、SMART Remote Managementのクラウドベースのデバイス管理ソフトウェアも提供しており、このソフトウェアを使用すると、iQを搭載したSMART Boardや、Windows、Chrome™ OS、Android™、およびiOSのオペレーティングシステムを実行しているデバイスを管理することができます。詳細についてはSMART Remote Managementを参照してください。

# コンピューターのシリアルインターフェースの設定

ディスプレイにコマンドを送信する前に、コンピューターのシリアルインターフェースを設定します。

## コンピューターのシリアルインターフェースを設定する

1. ディスプレイをONIにします。
2. コンピューターの電源を入れ、シリアル通信プログラムまたはターミナルエミュレーションプログラムを開始します。
3. ローカルエコーを有効にします。
4. 次の値を使用してシリアルインターフェースを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
-------	-------

データ長	8
------	---

パリティビット	なし
---------	----

ストップビット	1
---------	---

次の行にコマンドプロンプト (>) が表示されると、ディスプレイはコンピューターからのコマンドを受信できません。

### 注記

メッセージがなにも表示されないか、エラーメッセージが表示された場合、シリアルインターフェースが正しく設定されていません。手順3~4を繰り返してください。

# コマンドと応答

ディスプレイ情報にアクセスしたり、室内コントローラシステムを使用して、ディスプレイの設定を調整するには、コマンドプロンプト (>) の後にコマンドを入力し、ディスプレイからの応答を待ちます。

### 正解です

```
>get volume
volume=55
>
```

以下の例では、ユーザーは-50の代わりに=-50を使用しました。

#### 誤っています

```
>set volume=-50
invalid cmd: setvolume=-50
>
```

#### 注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドでは大文字と小文字が区別されず、余分なスペースは無視されます。
- コンピュータ上の多くのターミナルアプリケーションでは、コマンドを入力するときに BACKSPACE キーを使用できます。
- ディスプレイにコマンドを送信する前に、各エントリを注意深く確認してください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプト(>)が表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。コマンドプロンプトがない場合は、キャリッジリターン文字 (<CR>) をディスプレイに送信します。ディスプレイがコマンドを受け取る準備ができている場合は、キャリッジリターンを受け取った後にコマンドプロンプトが表示されます。|

#### 設定の現在の値の取得

getコマンドを使用します。

次の例は、ボリュームの取得方法を示します。

```
>get volume
volume=55
>
```

#### 設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65
volume=65
>
```

### 設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5
volume=70
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15
volume=55
>
```

## 電源状態コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	set powerstate[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =ready</li> <li>• =standby</li> <li>• =powersave</li> </ul> 注記 ディスプレイがUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。	powerstate=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• standby</li> <li>• powersave</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>

ディスプレイの電源状態は6とおりあります。

電源状態	説明
オン	ディスプレイは通常の動作モードです。
準備完了	画面は消灯ですが、次のいずれかが発生するとディスプレイはオンになります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• ユーザーが、ペンやイレーザーを手取る。</li> <li>• ディスプレイはset powerstate=onコマンドを受信します。</li> <li>• セッキンセンサーが部屋の人を検出。</li> <li>• ディスプレイには映像信号が入力されます。</li> </ul>

電源状態	説明
スタンバイ	<p>画面は消灯し、ディスプレイは低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セツキンセンサーが部屋の人を検出。</li> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• ディスプレイはコマンド <code>set powerstate=ready</code> または <code>set powerstate=on</code> を受信します。</li> </ul> <p>この電力状態は、EU以外の場所に設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b></p> <p>EUは、この電力状態を説明するために「ネットワークスタンバイ」を使用しています。</p>
POWERSAVE	<p>画面は消灯し、ディスプレイは超低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• ディスプレイはコマンド <code>set powerstate=ready</code> または <code>set powerstate=on</code> を受信します。</li> </ul> <p>この電力状態は、EUロケーションに設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b></p> <p>EUは、この電力状態を説明するために「スタンバイ」を使用しています。</p>
UPDATEON	<p>ディスプレイでファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。</p>
UPDATEREADY	<p>画面消灯中にディスプレイがファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。</p>

get powerstateおよびset powerstateを除き、ディスプレイ電源が準備状態もしくはオン状態になっている場合にのみコマンドが利用可能です。

## 入力コマンド

Get command	Set command	回答
1台のディスプレイが接続されている場合		
get input	set input[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =hdmi1</li> <li>• =hdmi2</li> <li>• =hdmi3</li> <li>• =vga1</li> <li>• =ops1</li> <li>• =usbc1</li> <li>• =usbc2</li> <li>• =android</li> </ul>	input=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• hdmi1</li> <li>• hdmi2</li> <li>• hdmi3</li> <li>• vga1</li> <li>• ops1</li> <li>• usbc1</li> <li>• usbc2</li> <li>• android</li> <li>• none</li> </ul>

## 明るさコマンド

Get command	Set command	回答
get brightness	set brightness[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul>	brightness=[値] [Value]は、0～100の数字です。

## フリーズコマンド

Get command	Set command	回答
get videofreeze	set videofreeze[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	videofreeze=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## スクリーンシェードのコマンド

Get command	Set command	回答
get screenshade	set screenshade[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	screenshade=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ボリュームコマンド

Get command	Set command	回答
get volume	set volume[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul> 注記 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイの音声ミュートされている場合、音量を変更するとミュートも解除されます。</li> <li>• 音量をゼロにすると、音量も消えます。</li> </ul>	volume=[値] [Value]は、0～100の数字です。

## ミュートコマンド

Get command	Set command	回答
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ファームウェアバージョンのコマンド

Get command	回答
get fwversion	fwversion=[値] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。

## シリアル番号のコマンド

Get command	回答
get serialnum	serialnum=[値] [Value]は、シリアル番号です。

## パーツ番号のコマンド

Get command	回答
get partnum	partnum=[値] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。

## モデル番号コマンド

Get command	回答
get modelnum	modelnum=[値] ここで、[値] はディスプレイのモデル番号です。

## RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決

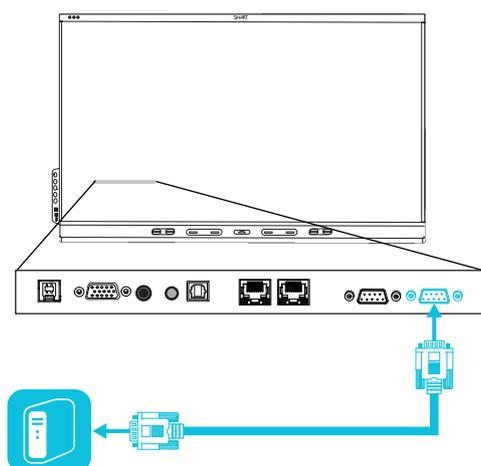
次の表は、RS-232を用いたディスプレイを管理する際の一般的な問題とその解決方法を示しています：

兆候について	トラブルシューティングの手順
RS-232を使用したディスプレイの管理が正常に機能していません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのケーブルがしっかり接続されていることを確認します。</li> <li>ディスプレイとリモート管理システムを再起動してください。 41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li> <li>RS-232ターミナルアプリケーションで、シリアルインターフェースの設定を行います。 79 ページコンピューターのシリアルインターフェースの設定を参照してください。</li> </ul>
RS-232を使用したディスプレイを管理する際に他の問題が発生しているか、前の手順で問題が解決していません。	47 ページトラブルシューティングを参照してください。

# 付録 D RS-232を用いたSMART Board 6000S (C) または 6000S シリーズディスプレイの管理

複数のディスプレイの接続 .....	79
コンピューターのシリアルインターフェースの設定 .....	79
コマンドと応答 .....	80
電源状態コマンド .....	82
入力コマンド .....	84
明るさコマンド .....	84
フリーズコマンド .....	85
スクリーンシェードのコマンド .....	85
ボリュームコマンド .....	85
ミュートコマンド .....	85
ファームウェアバージョンのコマンド .....	86
シリアル番号のコマンド .....	86
パーツ番号のコマンド .....	86
RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決 .....	87

RS-232ケーブルをコンピューターのシリアル出力からこのディスプレイのRS-232コネクタに接続して、ビデオ入力やディスプレイのオン / オフを離れた場所から操作したり、音量や電源状態などのディスプレイの現在の設定内容を取得することができます。



### ❗ 重要事項

標準のRS-232ケーブルのみを使用してください。ヌルモデムケーブルを使用しないでください。ヌルモデムケーブルは通常、両端が同じ形状をしています。

### ヒント

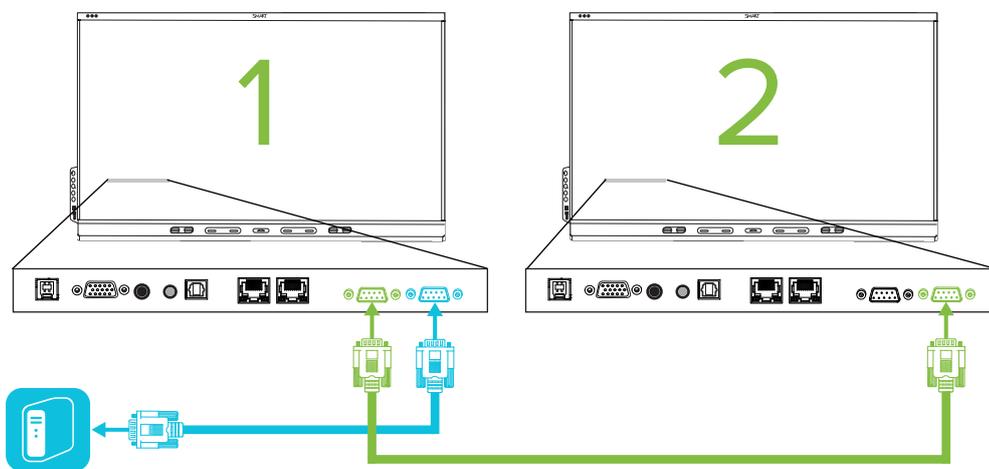
また、SMARTは、SMART Remote Managementのクラウドベースのデバイス管理ソフトウェアも提供しており、このソフトウェアを使用すると、iQを搭載したSMART Boardや、Windows、Chrome™ OS、Android™、およびiOSのオペレーティングシステムを実行しているデバイスを管理することができます。詳細についてはSMART Remote Managementを参照してください。

## 複数のディスプレイの接続

コンピューターのシリアルポートとディスプレイ右端のRS-232入力コネクタをRS-232ケーブルで接続し、別のRS-232ケーブルをディスプレイ右端のRS-232出力コネクタから次の右端のRS-232入力コネクタに接続する方法で、室内のコントローラシステムに最大10台のディスプレイを接続することができます。

### 注記

- 一番左のディスプレイ(正面から見て)はチェーンの最初のディスプレイで、その右側のディスプレイはチェーンの2番目のディスプレイとなり、以下同様です。



- この方法でディスプレイを接続すると、すべてのディスプレイが一つの単位として動作します(25 ページ 複数のディスプレイを取り付けを参照)。
- get input、set input、およびget fwverを除くすべてのリモート制御コマンドが、接続されたすべてのディスプレイに適用されます。

## コンピューターのシリアルインターフェースの設定

ディスプレイにコマンドを送信する前に、コンピューターのシリアルインターフェースを設定します。

## コンピューターのシリアルインターフェイスを設定する

1. ディスプレイをONにします。
2. コンピューターの電源を入れ、シリアル通信プログラムまたはターミナルエミュレーションプログラムを開始します。
3. ローカルエコーを有効にします。
4. 次の値を使用してシリアルインターフェイスを設定し、ENTERを押します。

ボーレート	19200
データ長	8
パリティビット	なし
ストップビット	1

次の行にコマンドプロンプト (>) が表示されると、ディスプレイはコンピューターからのコマンドを受信できません。

### 注記

メッセージがなにも表示されないか、エラーメッセージが表示された場合、シリアルインターフェイスが正しく設定されていません。手順3~4を繰り返してください。

## コマンドと応答

ディスプレイ情報にアクセスしたり、室内コントローラシステムを使用して、ディスプレイの設定を調整するには、コマンドプロンプト (>) の後にコマンドを入力し、ディスプレイからの応答を待ちます。

### 正解です

```
>get volume
volume=55
>
```

以下の例では、ユーザーは-50の代わりに=-50を使用しました。

### 誤っています

```
>set volume=-50
invalid cmd: setvolume=-50
>
```

### 注記

- コマンドはASCIIで入力してください。
- コマンドでは大文字と小文字が区別されず、余分なスペースは無視されます。

- コンピュータ上の多くのターミナルアプリケーションでは、コマンドを入力するときに BACKSPACE キーを使用できます。
- ディスプレイにコマンドを送信する前に、各エントリを注意深く確認してください。
- 応答が返され次のコマンドプロンプト(>)が表示されるまで、別のコマンドを送信しないでください。コマンドプロンプトがない場合は、キャリッジリターン文字 (<CR>) をディスプレイに送信します。ディスプレイがコマンドを受け取る準備ができている場合は、キャリッジリターンを受け取った後にコマンドプロンプトが表示されます。

### 設定の現在の値の取得

getコマンドを使用します。

次の例は、ボリュームの取得方法を示します。

```
>get volume
volume=55
>
```

### 設定に値を割り当てるには

setコマンドを使用します。

この例では、ボリュームを65に設定します。

```
>set volume=65
volume=65
>
```

### 設定の値を増減するには

setコマンドを使用して値を上下させ、希望の値にします。

この例では、ボリュームを5上げます。

```
>set volume+5
volume=70
>
```

この例では、ボリュームを15下げます。

```
>set volume-15
volume=55
>
```

## 特定のディスプレイで値を指定 / 割り当てるには

コマンドを、[Display],@で開始します。この[Display]は、コマンドを送る先のディスプレイです。  
この例では、チェーンの最初のディスプレイの入力をHDMI 2に設定します。

```
>A,@ set input=hdmi2
@,A input=hdmi2
>
```

### 注記

- チェーン内の最初のディスプレイにはA、次のディスプレイにはBというふうにラベルが付けられます。
- ディスプレイを特定できるのは、get input、set input、およびget fwversionコマンドのみです。

## 電源状態コマンド

Get command	Set command	回答
get powerstate	set powerstate[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =ready</li> <li>• =standby</li> <li>• =powersave</li> </ul>	powerstate=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• ready</li> <li>• standby</li> <li>• powersave</li> <li>• updateon</li> <li>• updateready</li> </ul>

**注記**

ディスプレイがUPDATEONまたはUPDATEREADYの状態にある場合、コマンドを受信した後の電源の状態を変更する場合があります。

ディスプレイの電源状態は6とおりあります。

電源状態	説明
オン	ディスプレイは通常の動作モードです。
準備完了	画面は消灯ですが、次のいずれかが発生するとディスプレイはオンになります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• ユーザーが、ペンやイレーザーを手にする。</li> <li>• set powerstate=onコマンドを送信する。</li> <li>• せっきんセンサーが部屋の人を検出。</li> <li>• ディスプレイには映像信号が入力されます。</li> </ul>

電源状態	説明
スタンバイ	<p>画面は消灯し、ディスプレイは低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セツキンセンサーが部屋の人を検出。</li> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• set powerstate=readyまたはset powerstate=onコマンドを送信します。</li> </ul> <p>この電力状態は、EU以外の場所に設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b></p> <p>EUは、この電力状態を説明するために「ネットワークスタンバイ」を使用しています。</p>
POWERSAVE	<p>画面は消灯し、ディスプレイは超低電力モードです。次のいずれかが発生するとディスプレイは準備もしくはONの状態になります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コンビニエンスパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。</li> <li>• set powerstate=readyまたはset powerstate=onコマンドを送信します。</li> </ul> <p>この電力状態は、EUロケーションに設定されたディスプレイのデフォルトの省エネモードです。</p> <p><b>注記</b></p> <p>EUは、この電力状態を説明するために「スタンバイ」を使用しています。</p>
UPDATEON	<p>ディスプレイでファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。</p>
UPDATEREADY	<p>画面消灯中にディスプレイがファームウェアを更新しています。ディスプレイをOFFにしないでください。</p>

get powerstateおよびset powerstateを除き、ディスプレイ電源が準備状態もしくはオン状態になっている場合にのみコマンドが利用可能です。

## 入力コマンド

Get command	Set command	回答
<b>1台のディスプレイが接続されている場合</b>		
get input	set input[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =hdmi1</li> <li>• =hdmi2</li> <li>• =hdmi3</li> <li>• =vga1</li> <li>• =ops1</li> <li>• =usbc1</li> <li>• =android</li> </ul> <p><b>注記</b></p> usbc1 setコマンドは、USB Type-Cコネクタを備えたディスプレイにのみ適用されます。	input=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• hdmi1</li> <li>• hdmi2</li> <li>• hdmi3</li> <li>• vga1</li> <li>• ops1</li> <li>• usbc1</li> <li>• android</li> <li>• none</li> </ul>
<b>複数のディスプレイが接続されている場合</b>		
[[Display]],@ get input [Display]は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。	[[ディスプレイ]],@ set input[値] 場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ディスプレイ] は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。</li> <li>• [Value]は、次のいずれかです。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ =hdmi1</li> <li>◦ =hdmi2</li> <li>◦ =hdmi3</li> <li>◦ =vga1</li> <li>◦ =ops1</li> <li>◦ =android</li> </ul> </li> </ul>	@,[ディスプレイ] input=[値] 場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ディスプレイ] は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。</li> <li>• [Value]は、次のいずれかです。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ hdmi1</li> <li>◦ hdmi2</li> <li>◦ hdmi3</li> <li>◦ vga1</li> <li>◦ ops1</li> <li>◦ android</li> <li>◦ none</li> </ul> </li> </ul>

## 明るさコマンド

Get command	Set command	回答
get brightness	set brightness[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[5-100]</li> </ul>	brightness=[値] [Value]は5~100の数字です。

## フリーズコマンド

Get command	Set command	回答
get videofreeze	set videofreeze[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	videofreeze=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## スクリーンシェードのコマンド

Get command	Set command	回答
get screenshade	set screenshade[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	screenshade=[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ボリュームコマンド

Get command	Set command	回答
get volume	set volume[値] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• +[値]</li> <li>• -[値]</li> <li>• =[0-100]</li> </ul>	volume=[値] [Value]は、0～100の数字です。

## ミュートコマンド

Get command	Set command	回答
get mute	set mute[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• =on</li> <li>• =off</li> </ul>	mute=[Value] [Value]は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• on</li> <li>• off</li> </ul>

## ファームウェアバージョンのコマンド

Get command	回答
1台のディスプレイが接続されている場合	
get fwversion	fwversion=[値] [Value]は、ファームウェアのバージョンです。
複数のディスプレイが接続されている場合	
[[Display]],@ get fwversion [Display]は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。	@,[ディスプレイ] fwversion=[値] 場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ディスプレイ] は、ディスプレイのラベルです (A、B、など)。</li> <li>• [Value]は、ファームウェアのバージョンです。</li> </ul>

## シリアル番号のコマンド

Get command	回答
get serialnum	serialnum=[値] [Value]は、シリアル番号です。
	<b>注記</b> 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイのシリアル番号が含まれています。

## パーツ番号のコマンド

Get command	回答
get partnum	partnum=[値] [Value]は、改訂を含むパーツ番号です。
	<b>注記</b> 複数のディスプレイが接続されている場合、応答には、カンマで区切ったすべてのディスプレイ品番が含まれます。

## RS-232を使用したディスプレイ管理に関する問題の解決

次の表は、RS-232を用いたディスプレイを管理する際の一般的な問題とその解決方法を示しています：

兆候について	トラブルシューティングの手順
RS-232を使用したディスプレイの管理が正常に機能していません。	<ul style="list-style-type: none"><li>すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。</li><li>ディスプレイとリモート管理システムを再起動してください。 41 ページディスプレイをオフ、オン、およびリセットを参照してください。</li><li>RS-232ターミナルアプリケーションで、シリアルインターフェースの設定を行います。 79 ページコンピューターのシリアルインターフェースの設定を参照してください。</li></ul>
RS-232を使用したディスプレイを管理する際に他の問題が発生しているか、前の手順で問題が解決していません。	47 ページトラブルシューティングを参照してください。

# 証明書およびコンプライアンス

## 米連邦通信委員会の干渉に関する声明

### FCC

#### サプライヤーの適合宣言書

#### 47 CFR § 2.1077コンプライアンス情報

ユニーク識別子: IDS665-3、IDS675-3、IDS686-3、

IDS665-1、IDS675-1、IDS686-1

#### 責任団体 - U.S. 連絡情報

SMART Technologies Inc.

2401 4th Ave, 3rd Floor

Seattle, WA 98121

[compliance@smarttech.com](mailto:compliance@smarttech.com)

本デバイスは、FCC規則第15章に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

### 注記

この機器は、検査を行い、FCC規則第15章で定められたA分類のデジタル機器の規制に準拠することが確かめられています。これらの規制は、製品を商用環境で使用する場合の有害な混信に対し妥当な保護機能を提供することを目的としています。本装置は、無線周波数を生成・使用・発信するもので、指定の方法に従わずに設置・使用すると、無線通信に関し有害な混信を引き起こす場合があります。本装置を住宅地で使用する場合、有害な混信を引き起こすことがあります。そのような場合、混信を防止するため、ユーザー様のご負担による改修等の対策が必要になります。

### ⚠ 注意事項

コンプライアンス担当責任者による明確な承認のあらゆる変更または修正が本装置を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

### 制限

5.15-5.25GHz 帯域での使用は屋内使用のみに制限されています。

米国における本製品のIEEE 802.11bまたは802.11gでの使用は、チャンネル1〜13に制限されたファームウェアです。

### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## イノベーション、科学・経済開発省のカナダにおける声明

このデバイスはイノベーション、科学、経済開発のカナダ規制RSS-210に準拠しています。操作は、次の2つの条件が適用されます。

1. 本デバイスが有害な干渉を引き起こさない場合があり、そして
2. 本デバイスは望ましくない操作を引き起こす干渉を含め、受信した何らかの干渉を受け入れる必要があります。

### ⚠ 注意事項

(i)5150-5250MHz帯域での操作用デバイスは同一チャンネルの携帯電話衛星システムへの有害な干渉の可能性を軽減するために屋内使用のみとなります。

(ii)5250-5350MHzおよび5470-5725MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得はe.i.r.p.制限に準拠するものとし、そして

(iii)5725-5825MHzの帯域で、デバイス用に許可された最大アンテナ利得は必要に応じてポイントツーポイントとポイントツーポイント以外の操作に指定されるe.i.r.p.制限に準拠するものとなります。

(iv)ユーザーは、高出力レーダーが、5250-5350MHzおよび5650-5850MHz帯域のプライマリユーザーとして(つまり、優先ユーザー)割り当てられること、さらにこれらのレーダーがE-LANデバイスへの干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も警告されるものとなります。

### 放射線被曝ステートメント

本装置は、ISEDの被曝制限の制御されていない環境に対して規定に準拠しています。本装置は本デバイスのアンテナとすべての近くの人との間に20cmの最小距離を設けたり、管理する必要があります。本送信機は他のアンテナまたは送信機とつないで共存または操作されないようにする必要があります。

## EU適合宣言

これにより、SMART Technologies ULC は、無線機器タイプのインタラクティブディスプレイ **IDS665-3、IDS675-3、IDS686-3、IDS665-1、IDS675-1、IDS686-1** および **OPS AM50、PCM8**、が指令 2014/53/EU に適合していると宣言していることを示します。

EU適合宣言の完全なテキストは次のインターネットアドレスでご利用可能です: [smarttech.com/compliance](http://smarttech.com/compliance)

### ⚠ 警告

住宅地の環境でこの機器を動作させると電波干渉を引き起こす可能性があります。

## 証明書およびコンプライアンス

EUの周波数帯域と最大送信電力は次のとおりです。

規制モデル:IDS665-3、IDS675-3、IDS686-3、IDS665-1、IDS675-1、IDS686-1

送信帯域(MHz)	最大送信電力dBuV/m @ 10m
13.56	-9

送信帯域(MHz)	最大送信電力dBm
2402-2483.5	20
5150-5350	22
5470-5725	22

制限

下:AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MTNL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR - 5150MHz-5350MHz室内限定使用です。

規制モデル:OPS AM50, PCM8

送信帯域(MHz)	最大送信電力dBm
2402-2483.5	20
5150-5350	22
5470-5725	22
5745-5875	13

制限

下:AT/BE/BG/CZ/DK/EE/FR/DE/IS/IE/IT/EL/ES/CY/LV/LI/LT/LU/HU/MTNL/NO/PL/PT/RO/SI/SK/TR/FI/SE/CH/UK/HR - 5150MHz-5350MHz室内限定使用です。

最大のパフォーマンスを発揮するために、個のデバイスへの接続機器はCEIに準拠している必要があります。

## 日本VCCIクラスA声明 - 日本で販売するために認定されたモデルのみに適用されます。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

日本国内は100V交流動作のみに制限されています。

本製品はVCCI(Voluntary Control Council for Interference)の規格に基づくクラスA製品です。この機器を家庭環境で使用する場合、電波障害が発生する可能性があり、その場合、ユーザは是正措置を講じる必要があります。

日本国内は100V交流動作のみに制限されています。

## アラブ首長国連邦 - TRA登録詳細

パネル65"

規制モデルIDS665-3



規制モデルIDS665-1



パネル75"

規制モデルIDS675-3



規制モデルIDS675-1



パネル86"

規制モデルIDS686-3



規制モデルIDS686-1



## ハードウェア環境コンプライアンス

SMART Technologiesは、安全かつ環境にやさしい方法で電子機器の製造、販売、廃棄を実現するために、グローバルな取り組みを支持しています。

廃電気電子機器 (WEEE)

電気・電子機器や電池には、環境や人間の健康に有害なおそれがある物質を含みます。×印のついた車輪付きのゴミ箱マークは、製品が適切にリサイクルの流れで、通常廃棄物ではないように処分される必要があることを示しています。



## 証明書およびコンプライアンス

<b>バッテリー</b>	SMART Board 6000S、SMART Board 6000S Pro、SMART Board 6000S (C) および SMART 6000S (C) Pro ディスプレイには、CR2032 コイン電池が搭載されています。SMART Board 6000S (V3) および SMART 6000S (V3) Pro ディスプレイには、CR1220 コイン電池が搭載されています。 リモコンにはAAAバッテリーが含まれます。電池は正しくリサイクルまたは廃棄してください。
<b>過塩素酸塩素材</b>	製品のコインセルバッテリーには、過塩素酸塩の材料が含まれています。特別な処理が適用されます。 <a href="https://dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate">dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate</a> を参照してください。
<b>詳細情報</b>	詳細については <a href="https://smarttech.com/compliance">smarttech.com/compliance</a> をご参照ください。

**SMART Technologies**

[smarttech.com/support](https://smarttech.com/support)

[smarttech.com/contactsupport](https://smarttech.com/contactsupport)

[smarttech.com/ja/kb/171414](https://smarttech.com/ja/kb/171414)